

論 言 反 告

土木學會誌 第九卷第四號 大正十二年八月

あめりかデ見學シタ工事ニ就テ

會員工學士 平山復二郎

内 容 梗 概

之ハ私ガ大正九年カラ十一年ニカケテ歐米在留中主トシテあめりかデ見學シタこんすとらくしょんに關スル左記ノ事項ニ就テ大略ヲ述べタモノデアル
が尙未尾ニこんすとらくしょんニ機械ヲ應用スルニ就アノ所感ヲ書イタ

すちーむ。しょべる土工
ぢれー・あくしょん・ぢとねーたー

にゅーまちっく・けーそん工事
隧道あーち型支壁工

ろばーと式軌道敷設機

通風用かんばす・ばいぶ

一 緒 言

茲三説明シヨウツスル以上各種事項ニ就テハ既ニ各方面ノ書籍雜誌其他ニ數多ク有益ナ参考記事ガアルカラ是等参考記事カラ解ル様ナコトハ可成詳シイ説明ヲ省略シテ單ニ参考記事ノ所在ヲ舉ゲルダケニ止メタ参考記事ノ所在トシテハ書籍、雜誌、目錄、ばんふれ、と類デアルガ書籍、雜誌ハ特別ナモノデナイ限り日本デモ見ラレルシ又目錄、ばんふれ、と類モあめりかナラ注文次第割合手輕ク送ツテ吳レルカラ必要アレバ手ニ入レルコトハ左程面倒デナイ
次ニ私ハ職務上こんすとらくしょんニ關シテハ主ニ鐵道工事方面ノ立場カラ研究シタカラ茲デモ是等ノ事項ニ就テ一般的デナク鐵道工事方面ヘノ應用トシテ述べテル嫌ガアルト思フ

682:

II すわーむ・レバーハンドル

あめりかデすわーむ・レバーハンドルノハ廣ク用キランテルノハ今更云フ迄モナイ事デ隨分一寸シタ切取工事ニモ利用シテルノデ
驚カサシル程デアル從ツテ其ノ製造會社モ隨分數多クアルガ代表的ナノハ

The Bucyrus Co., Milwaukee, Wis.

Marion Steam Shovel Co., Marion, Ohio.

大型トシテ小ハねばーノ大サ四分ノ三立方碼位カラ大ナノハ八立方碼位迄作ツテルかなだノおんたりお水力工事委員會 (Hydro-Electric Power Commission of Ontario) ノ仕事デアルなシやがらノ Queenston-Chippawa Power Canal 工事デ使用シテル記錄破リノ大キナすわーむ・レバーハンドルノ亦ヨノ兩會社ノ製品デアルヨノ兩會社以外ニ小型ノすわーむ・レバーハンドルノ Erie Steam Shovel Co., Erie Pa. ガアルガスリ一・レバーハンドル (Erie Shovel) ル〔スハテ小規模ノ工事ニハナカナ用キラレテルばかり専門ヤビタシムハデハ最小型ノねばー一大サハ四分ノ三立方碼迄デアルガスリ一・レバーハンドルノハコニヨリ小型ノ一分ノ一立方碼ノモノガアル之ハ重量其他凡テ小サイカラ一個所ニ纏シタ土工工事ノ少イ日本ノ建設線ノ様ナ工事ニハ適當ナキノデベナイカト思ヘすわーむ・レバーハンドルノハ専門的ニ作ツテル大キナ會社ハ米國ノミテ歐洲大陸ニハ餘リナイ様デアルガ英國ニ一ツ Ruston and Hornsby Co., ガアル工場モ立派ナキノデレバーハンドルノ此頭ノ小型ノすわーむ・レバーハンドルノハペリ一ムトガバーハンドル變ヘンバ直グビハジ・ムラニ (Drag Line) われんぢびーる (Orangepeel) 又ハくらむ・レバーハンドル (Clam Shell) あるすかべーたニ出來ルシ又ハカムカム・レバーハンドルノガ普通デアルカラ單リすわーむ・レバーハンドルノハモソノ應用ノ範圍ハナカナカ廣イモノデアル

すわーむ・レバーハンドルノハ外國デベ既リ長い經驗ヲ持ツテ居ツテ極普通ノ事ニナツテルカラヨシニ關スル參考記事ハ書籍雜誌等ニ隨分數多イ American Railway Engineering Association ノ道路委員會 (Roadway Committee) デ研究シタ報告ガ

同協會ノ Proceeding Vol. 3, 1902 頃カラノリ出タルガ (Vol. 18, 1917 リ編シタ推舉事項ガアル) 參考記事トシテ有益ナルト思フ又一九一四年リ出タル R. T. Dana 氏ノ Handbook of Construction Plant ノ改版デアル Handbook of Construction Equipment, 1921 (Mcgraw Hill Book Co. 出版) リモ種々参考リナル記事ガ集メタル すらーむ・レ・ぐるト關聯シテ是非考ヘサケレバナラン事ハ運搬用ノ車輛ノ問題デアル積込ニすらーむ・レ・ぐるノ様ナ能力ノアル機械ヲ使用スルナラ運搬アケ卸ニモ是非時間ガ要ラナイモノヲ使用スル事ガ大切デ一般ニすらーむ・レ・ぐる土工リハ機關車トだんぱ・かー (Dump Car) ヲ使ツテル若シだんぱ・かーデナク普通ノ平ラナムラトボーム・カーラ使用スル時ニハあんろーおんべ・ズムル (Unloading Flow) ノ様ナアケ卸ニ特別ナ機械ヲ使用シテル又市内ノ土工等デ軌道ヲ引クロトノ出來ナイ場合リバ一般ニ自働車ヲ使ツテル

だんぱ・かーリハ色々ノ種類ガアルガ之ニ就テハ "Types of Dump-Cars used on Construction Work" Eng. News, Sept. 28, Oct. 5, 1916 リ諸シイ説明ガアルカラ茲ニハ説明ヲ略スルガ大體二立方碼位ノ容量迄ハ鐵製ノV型ロ・カー・カム・ド・だんぱ・かー (Rocker V-shape Side Dump Car) ハコノ以上六立方碼位迄ハ木製ノ箱型ハコム・だんぱ・かーガ普通デ十立方碼以上ノ大容量ニハ普通鐵製ノ箱型ハコム・カム・だんぱ・かーヲ使用サレルあめりカテ著名ナだんぱ・かーノ製作會社ハ

Western Wheeled Scraper Co., Aurora, Ill.

Kilbourne and Jacobs Mfg. Co., Columbus, Ohio.

ノ11會社デヨノ兩會社ノ十一乃至二十立方碼ノハコム・だんぱ・かーハ種々ノ大土工工事ニ使用サレテルガ是等ハ列車トシテ編成サレタ時ばるぶノ開閉一ツデ列車中任意數ノ車ダケヲ一度ニだんぱ出來ルカラ非常ニ便利デアル本邦デモ既ニ臺灣鐵道及ビ満鐵デ四五十臺ノえやー・だんぱ・かーヲ是等ノ會社カラ購入シタ旨ヲ聞イタガ鐵道省デモ購入ノ上研究シテハ如何カト思フ

あんろーちんぐ・スラウニ就テハ前記ノ諸參考記事中ニモ詳シイ説明ガアルカラ茲ニハ説明ヲ略スルガ要スルニ列車ノ

縦ノ方向ニ鐵製ノぶらうヲけ一ぶるトえんぢんノ力デ引キズツテ車上ノ土砂ヲ側方ニ卸ス仕組デアル
だんぶ・かート一所ニ土工作業上あめりかデハ普通すぶれだ一・ぶらう(Spreader Plow)ヲ使用シテルガ之ハ或ル車ノ兩側ニ扁平ナぶらうヲひんぢシタモノデだんぶシタ土ヲ押シ均ラスノニ用キルノデアル之ニ就テハ前記だつた氏ノ書籍ニモ説明ガアルガ尙まりあん及ビざらす・すち一む・しょべる會社又ハだんぶ・かー・うすたん・ほいーると・すぐれ一ぱ一會社等デ製作スルノデかたろぐガアルカラコレニ就テモ茲ニハ説明ヲ略スル

一般ニ工事施工ニ當ツテソノ一部分ニ能力アル機械ヲ使用シテモコレト關聯スル他ノ部分ノ作業ガコレト平行シナケレバ何ニモナラン譯デ士工工事デモ切崩積込ニ能力アルすち一む・しょべるヲ使用スルナラ結局最後ノ土ヲ均ラス迄ニすぶれだ一・ぶらうノ様ナ能力アル機械ヲ使用シナケレバナラナイノダト思フ既ニすち一む・しょべる土工ハ日本デモ試ミラレル様ニナツタガコノ點ハ大ニ考ヘナクテハナラント思フ

三 にゆ一まちづく・け一そん工事ニ就テ

日本デ基礎工事ニにゆ一まちづく・け一そんヲ利用シタ事ハ稀デ普通ノ施工法デハナイガあめりかデハ極普通ノ施工法ト考ヘラレテ居ツテ盛シニ利用サレテル大キナ橋梁ノ基礎工事ハ問題ナイガ三百呎以下ノ小橋梁基礎工事ニモあ一ぶん・うえノ代リニにゆ一まちづく・け一そんヲ利用スル事ハ面白イ方法デハナイカト思フ

あ一ぶん・うえのトにゆ一まちづく・け一そんトノ一般利害得失ニ就テハ基礎工事ニ關スル書籍ヤ土木用ノぽけ、とぶく等ニ普通出テルカラ茲ニ改メテ述ベル必要ハナイガ果シテ何レガ經濟的デアルカト云フ事ハ色々々調ベテ見タガお一ぶん・うえのト比較出來ル様ナ費用其他ノ詳シイ記事ガ餘リナイノデ確カナ事ハ不明デアルガ餘リ深クナク淺クナイ三、四十呎カラ七、八十呎位迄ノ深サノ基礎工事ニハあ一ぶん・うえのト比較シテ經濟的デアリハセンカト思フ併シにゆ一まちづく・け一そんニハあ一ぶんうえのデハ得ラレナイ色々ノ利點ガアツテ是等ハ金錢ニ見積レナイ事デアルカラ單ニ金錢上ノ經濟問題ダケデニゆ一まちづく・け一そんヲ判斷スルノハ間違デソノ利點ヲ大ニ利用スル事ガ必要デハナイカト思フ

にゆーまち、く・けーそんト「フット如何ニモ困難ナ仕事ノ様デアルガ最近あめりかデハ盛ニニ使用スルノデ種々ノ點ガ改良サレテルカラ三百呎以下位ノ小型けーそんナラ設計施工其他左程面倒ナモノデハナイ小型にゆーまち、く・けーそんノ面白イ例ハにゆーよーく市等デ盛シニ利用シテル建物用ノモノデ大サハ圓形ノハ六呎位カラ十五呎位デ矩形ノハ最大邊ガ三十八呎位迄デ材料ハ多ク鐵筋ヲ使用シテル構造モ至極簡単デ普通ノ鐵筋こんくりーと・うるノ底ニ作業用ノ空氣室ヲ作ル爲ニヤハリ鐵筋こんくりーとデ蓋ヲシテコレニし、ぶとトロ、くヲ取り付ケルノデアル附圖第一カラ第五迄ハ私ノ視察シタニゆーよーく市ノ建物基礎工事用ノけーそん設計圖デ又寫真第一カラ第三迄ハ同工事ノ現場デアルガ最近使用シテル小型ノ鐵筋こんくりーと・にゆーまち、く・けーそんノ構造一般ヲ窺フコトガ出來ル

にゆーまち、く・けーそん工事ノ参考記事ハ書籍ニ實ニ數多クアルガ “On Account of Recent Improvements in Details of Pneumatic Foundations” Trans. of American Society of Civil Engineers Vol. 61, 1903 ハ此工事ノ最近ノ改良發達ニ就テ書イタモノデ非常ニ有益ナ参考記事デアル現在あめりかデ普通ニ使用サレテルキヤー・ろ、く・ Moran, Mattson, ノーラッデアルガ日本デ鳴鶴江ヤ横濱港ノ工事ニ用キタ大型 Caisson 用ノろ、くノ様ニ特別ナ材料捲揚機ガ付イテナイカラ構造ハ至極簡単デアル是等ノろ、くハ何ニヤばてんとデアルガ其合衆國ばてんと番號ハ夫々 694,978 (1902), 1,049,888 (1913) デアル尙 Mattson Lock ニ就テハ Robert Peele 氏著ノ Mining Engineers Handbook II 詳シイ説明ガアル次ニしゃべじデアルガ從來ハコロヲ埋メ込ムノガ普通デアツタガ此駿ハ取崩シ出來ル構造ノモノデ最後ニしゃべじアラン
くりーとスル時ニ取除クコトガ出來ルモノヲ使用シテルコレモばてんとデアルガ其合衆國ばてんと番號ハ 828,861 (1906) デアルにゆーまち、く・けーそん工事ヲヤルニハ設備トシテハえやーく・し、ぶと・こんぶれ、おー・ほすびたる・ろ、く (高壓ノ空氣ヲ使用スル時) 等ガ必要デアルガこんぶれ、おーハ中途ニばるぶナヘ置ケバ普通ノ百封度空氣壓ノこんぶれ、オーフ利用出來ルカラ必ズシモ低壓ノこんぶれ、おーノ必要ガナク特別ナモノトシテハる・く・し、ぶと・ダケデアルソレニ是等ノ設備ハ何レモ繰返シ利用出來ルモノデアルカラーノ工事ニ對スル設備費ハ左程大キナモノデハナイ

壓搾空氣ヲ水ノ排除ニ利用スルノハ獨リ基礎工事ニ限ラズ普通ノしゃべと工事ヤ隧道工事ニモ應用出來ル湧水ガ多量デ非常ナほんびんぐヲ要スル様ナ時ニ隔壁ヲこんくりーと等デ作リコணニにゆまちく・けーそん用ノ上記えやー・スバウヲ据ヘテ壓搾空氣ヲ送リ込ミ湧水ヲ止メテ作業スルノハ確カニ經濟的ナ場合ガアルト思フあめりかデハ勞働保險ノ制度ガアル關係上壓搾空氣中ノ作業ニ對シテモナカナカ嚴重ナ注意ヲ拂シテルガにゆーよーくデ出シテル左ノ規則ハ大ニ參考ニナル Bulletin No. 22, Industrial Code, Rules relating to Work in Compressed Air 又にゆーよーく市ニハ壓搾空氣中デ効ク専門勞働者(俗名 Sand Hog) ハ組合ガアツテ賃金其他ニ就テ色々制限ヲ作ツテル私ガびつばーく市附近ノ炭礦デ壓搾空氣ヲ使用スルする一ゞ掘鑿作業ヲ見學シタ時丁度組合勞働者ノすといひじぶガアツテ請負者ガ新規ナ勞働者ヲ募集シタガ新募集者ニ對シナカナカ嚴重ナ身體検査ヲヤツテ居ツタ、前記 Industrial Code 中ニハ之ニ關シ醫師ノ報告ガ載ツテ居ル位デアル附圖第六ハあめりか・しんしなな、ち市附近ノ Baltimore and Ohio 鐵道會社ノ改良工事デ見學シタ複線二百呎とらず六連、四十五呎それ一と・が一だ一四連ノ橋梁基礎工事ニ於ケルにゆーまちく・けーそん作業ノ進行圖デアルガ大體にゆーまちく・けーそん工事ノ進行模様ヲ知ル事が出來ル此工事ノ地質ハ主ニまびと砂デアツタガ砂ノ部分ノ作業ニハぶろー・あう(Blow out) ヲヤツテ居ツタ寫真第四ハスリヘツタぶろー・あう・ぱじぶヲ寫シタモノデアルガ曲線ノ部分ハ僅カ數時間デ鋼製ぱいゞガスリヘルノデ寫真ニアル様ナ木ノぶろーくヲ曲線ぱいゞノ外側ニ當テテ居ツタ

四 すおーる・じー・ム・はづるヒル就テ

すおーる・じー・ム・はづるヒルハ一般利用ニ就テハ別ニ説明スル迄モナイコトデアルガ鐵道工事デモ深サ二、四十呎位迄ノ橋梁基礎工事ニ箱枠沈下工ヤターピン・うえる工ノ代リニヨレヲ利用シタラ確カニ經濟的ナ場合ガアルト思フ
すおーる・じー・ム・はづるノ形ニハ色々アルガあめりかデ最モ普通ナハ Lackawanna Steel Co. ハ Lackawanna 型ト U. S. Steel Corporation ハ Carnegie 型トデアル併シ前者ノ方が繼日ガうちたー・たゞニナリ易イトノ事デ後者ヨリモ多

ク用キラレテル様デアル又英國デバ The British Steel Piling Company ガ工び一むヲ利用スル型(あめりかデ Jones and Laughlin 型ト稱セラル・モノ)ラジ・く工事其他ニ盛ンニ利用シテルすちーる・しーと・ぱいるノ打チ込ミハ蒸氣又ハ壓搾空氣デ運轉スルはんまーヲ使ツテ叩キ込ムダケデ別ニ變ツタコトハナイガ使用後之ヲ抜キ取ルノニハ色々々ノ方法ガアル直接うんちデ引キ抜イタリ又ハはいじらうり・く・じや・く・デ持チ上ゲル方法等モアルガ最モ有效ナノハ打チ込ミ用ノはんまーヲ特別設計ノぐり・ぶデ逆様ニ杭ニ取り付ケはんまーヲ動カシぐり・ぶヲ叩キ上ゲテ杭ヲ引キ抜ク方法デ從來ノ經驗ニヨルト隨分固着シタ杭迄モコノ方法ナラ引キ抜ケルトノコトデアル尙コノ方法ニ就テハあめりかノ McKernan-Terry Drill Co., Dover, N. J. 英國ノ British Steel Piling Co., London 等ノ目錄ニ詳シイ説明ガ載ツテル
要スルニ少シ深イ基礎工事施工法トシテハ

すちーる・しーと・ぱいる

おーぶん・うえる・けーそん

にゆーまちーく・けーそん

ノ三ツガアルガ是等ハ夫々特徴ガアツテ一概ニ何レガ有利デアルカ斷言出來ルモノデハナク全ク工事ノ状況如何ニ依ツテ定マルモノデアルカラ一ノ基礎工事施工ニ際シテモ是等何レノ方法ニ依ルカ比較研究スルコトガ必要デアルト思フ

五　にゆーまちーく・はん・しゃ(Pneumatic Hand Shovel)

あめりかデにゆーまちーく・ましんノ代表的ナ會社ハ Ingersoll-Rand Co. & Sullivan Machinery Co. デアルガコノ兩會社デ最近壓搾空氣デ動カスはんど・しょ・ぐるヲ製作シタガ既ニ實際ノ工事ニ使用シテ效果ヲ收メテ居ル之ハ簡単ニ云ヘバ從來ノろく・じりのノどりの・ろく・代リニしょ・ぐるノ形ノ鐵刃ガツイテルろく・どヲ用キタモノデはんまーノ力デ之ヲ土中ニ押シ込ミナガラ士ヲ崩ス仕組デアル發破ヲヤル程堅クハナイガ手デ掘ルノニハ堅過ギル粘土ノ様ナ土質ニ應用シテ結果ガヨイ又小型デ力強イカラ隧道内ノ様ナ窮屈ナ場所デ固イ土ヲ掘リ崩スノニモ妙デアル之ニ就テハ既ニ兩會社カラ

回鑿モ出ハルガ又 “Pneumatic Hand Shovel Haste Tunnel Excavation” Engineering News-Record, Vol. 86, No. 12, March 24, 1921 及々 “Construction Systematized in Soft Ground Tunnel” Engineering News-Record, Vol. 87, No. 23, Dec. 8, 1921 等リサエリ關ヘル説明ガアルコノ記事中ニモ書イテアルガレバノ又ノ部分ト柄ノ部分トノ移リ日ガヨノ工具ノ弱點デシニヘハ爲メコノ部分ガ能ク破損スルトノ事デ現ニ之ヲ使用シテ居シタニシヨー市附近ノベニシンドトニフ町ノ下水隧道工事ヲ訪問シタ時モ現場ノ技術者ガ折レタ見本等ヲ示シテ此事ヲ説明シテ吳レタヨノ下水隧道ハ内徑僅カ七呎ノ小型ナヨハ地質ハ玉石交リノ砂利層デアシタガヨハ様ニ狭イ所テ玉石ノ下ナドヲ剝ルリヨハ工具ハ非常リ具合ガイ、

コノ下水隧道工事ニ就テハ雑誌 Public Works, March 12, March 26, 1921 (ヒヘ雑誌 Municipal Journal & Contracting ヒヘニ二雑誌ガ合併改名シタモノデアル) Engineering News-Record, Vol. 39, No. 5, August 3, 1922 等リ詳シイ記事ガアルガ色々々新規ナ工夫ヲ應用シタ工事デ直徑七呎許リノ小型シーマンヲ使用シタ事、疊築ニ特種設計ノヒンヒラーミルスルハクア使用シタ事、ダラダラ積マリシ一取付ケノはソムシムハラヘ・さればたーハ使用シタ事、せんたーノ代リニ特種設計ノダラヘ・あせんぐらヘ・ルマリ・ヒー (Block Assembling Traveler) ハ使用シタ事、ダラヘ・疊築ノ裏詰メリダラ・ル・スムウチヤン (Grit Grouting) ハ使用シタ事等ガ最モ變ツタ面白イ點デアル寫真第五カラ第八ハ何レヨコノ工事現場デ寫シタルハフルガ第五ダラ・ル・スムウチヤン用ノ機械テ他ハ使用シタこんぐりーと・ダラヘ・ヒト同製作作用ノ模型デアル

六 われー・アーティス・ディアジョン (Delay Action Detonator) II 様

電氣發火ガ普通ノ導火線發火ニ比ベテ安全デアリ殊ニ隧道工事デハ導火線ノ燃燒カラ來ル惡瓦斯ガ無イカラあめりかデバ一般ニ電氣發火ヲ使用シテル併シ隧道工事等デ發破ヲ一遍テナク何度カニヤル時ニハ電氣發火ハ一發破毎ニ掘鑿面ニ戻シテ次ノ發破ノわいやうんダヤラネバナラヌカラナカナカ厄介デアル且ツ發破面ノ凡テノ鑿孔ニ最初だしなま

とヲツメルト一發破毎ニわいやりんぐニ戻ルノハ可成事故ノ危険ガ多イ之デ安全ノ爲發破面ノ鑿孔全部ニ豫メだいな
まいとヲツメナイデ一度ニ發破スル鑿孔ノミニだいなまいとヲツメル事ヲ勧メル人モアル位デ兎ニ角一々發破面ニ戻ル
コトバ電氣發火ノ大ナル缺點デアルぢれー・あくしょん・ぢとねーたーハコノ缺點ヲ除ク爲ニ工夫サレタモノデ從來ソノ
成績ガ餘リ良好デナカツタ爲廣ク用キラレナカツタガ近來優秀ナモノガ出來ル様ニナツテ土木方面ノ隧道工事ニモ大分
使用サレル様ニナツタ殊ニあめりかノ西部地方デヤツテル水力、水道等ノ隧道工事ニバ一般ニ之ヲ使用シテルぢれー・
あくしょん・ぢとねーたーニ就テハ近頃ノ隧道、礪山ニ關スル書籍又ハ雑誌等ニ數多ク説明ガアルカラ茲ニ詳シイ説明ハ
略スルガ要スルニコノ電管ハ電流ヲ通ジテカラ爆發スル迄ニ或ルぢれーノ時間ガアツテコノ時間ニ長短數種ノ別ガアル
カラ是等ヲ取り混ゼテ掘鑿面ノ各孔ニ使用シ全部ヲ一遍ニわいやりんぐスルト只一度する。ちヲ入レタダケデ掘鑿面ノ
全鑿孔ヲ勝手ナ順序ニ發破スルコトガ出來ルノデアル從ツテ一々掘鑿面ニ戻ツテわいやりんぐスル手間危険ガ全クナ
クナル California Cap Company, Oakland, Cal. 製ノぢれー・あくしょん・ぢとねーたーハ西部地方ノ工事ニ使用サレ評判
ガイ、ガコノ會社ノ目錄モ大ニ参考ニナル

七 隧道あーち型支堡工(Arch Timbering) II就ト

あめりかデ支堡工上特ニ目ニツクコトハあーち型支堡工ノ應用デアルあめりかヤかなだノ隧道工事デ普通ノ支堡工ヲ使
フ場合ハ殆ンド此式ノ支堡工ニ限ラレテ居ツテ隨分地質ノ惡イ處迄ニモ應用シテル材料ハ木材許リデナク地質ニヨツテ
ハ鋼ヲ使用シテルガ鋼ハ木材ヨリハ厚サガ少クテスムカラ餘掘モ減ルシソノ上疊築工ノ一部分トシテこんくりーと・ら
いにんぐ中ニ埋メ込メバ疊築工ノ儉約ニモナルカラ地質ノ惡イ處ニハ最近大分用キラレテル其他鋼ヲ木材ノ代リニ使用
スル細イ利害ニ就テハ Brunton 及ビ Davis 氏ノ Modern Tunneling by Brunton and Davis, 1922 ニ詳シイ説明ガアル
次ニコノあーち型支堡工ト歐洲日本ニ一般デアル支柱式支堡工ノ利害得失デアルガ之ハ既ニ隧道ニ關スル書籍又ハ雑誌
記事中ニ度々論ジラレテ居ルカラ茲ニ詳シイ説明ハ略スルガ特ニあーち型支堡工ニ就テ考ヘナクテハナラン事ハ器械ヲ

應用シテ隧道工事ヲ迅速ニヤラウト云フ時ニ非常ニ便利ナ事デアル兎ニ角あーち型支堡工ハ一度組立テ、シマヘバ殆ンド支堡工ノ爲ニ邪魔サレルコトガナイカラ隧道断面全部ノ空間ヲ自由ニ利用スルコトガ出來ルあめりかデ一般ニ使用サレタルぶるー・ムホーむ(Blaw Form)ノ様ナ移動式ノせんたーフ使ツテ壓搾空氣デこんくりーとラ送リ込ム様ナ迅速ノ仕事ハドウシテモあーち型支堡工デナクテハ出來ナイト思フ此外あーち型支堡工ヲ用ウルト面白イノハ地質ノ惡イ處ニ鐵筋こんくりーとガ樂ニ應用出來ルコトデアル鐵筋こんくりーとナラ鐵筋ノ増減ニヨツテ疊築工ノ強サヲ加減出來ルカラ多少あーち型支堡工ガ沈下シテ所要ノ厚サノ疊築工ガ出來ナイ時デモ鐵筋ヲ強クサヘスレバ支堡工ヲヤリカヘナクテモスム又あーち型支堡工ハ埋穀シニサヘスレバ一度組立テタ後ニ支堡工ヲ動カス事ハ全クナイカラ非常ニ安全デアル日本デ隧道崩壊ノ事故ノ多クガ疊築中支堡工ヲ緩メル爲ニ起ルノヲ思フト此點ハ大ニ考ヘテイヘト思フ

附圖第七、第八、第九ハ Canadian Pacific Railway ノ Rogers Pass Tunnel ノ木材あーち型支堡工デ第十七ハびつばーく市ノ Liberty Tunnel ノ鋼鐵あーち型支堡工デアルガ特ニ厚サヲ減ズル爲 Bethlehem 型Iびーむヲ使用シテル

あめりかデハ木材あーち型支堡工ニハ一般ニ角材ヲ使用シテルガ之ハ必ズシモ角材ニスル必要ハナイ丸太材デモ差支ナイト思フ又普通コノ支堡工ハ埋穀シニシテ取外サナイガあーちノ攻ノ部分ハ充分裏込ガ填充出來ナイカラ疊築終了後コノ部分ニハ一般ニもるたる・ぐらうぢんぐラヤツテル

茲ニハあーち型支堡工ノ利點ノミヲ舉ゲタガ勿論コノ支堡工ニモ色々缺點ハアルカラ果シテ日本ノ隧道工事ニ利用シテ有效デアルカ否カハ實際ノ實驗ニヨル外ナイト思フ日本デ隧道事故ノ大キナモノハイツモ支堡工ノ不完全カラ來ル崩壊デアルコトヲ思フト支堡工ノ改良研究ト云フコトハ確カニ隧道工事上重要ナ事項デコノ點カラモあーち型支堡工ヲ實施研究スルコトハ確カニ面白イト思フ

八 隧道らひにんぐII就ト

あめりかノ隧道デハ少シ地質ガイ、處ハ可ナリらじにんぐヲ省略シテル勿論之ハ日本ナドニ比ベテ地質ニ變化ガナク又

一般ニ山ガモメテナイ關係カラデハアルガ日本ノヤリ方ヲ考ヘルトドウモらじにんぐヲヤリ過ギテルノデハナイカト思フ併シあめりかデモ從來らいにんぐヲ省イタニ就テハ隨分失敗ガアル様デ掘鑿當時丈夫ダト思ツタ岩石ガ開通後時ヲ經ルニ從ツテうえざりんぐノ爲ニ脆クナリ障害ヲ起シタ例ガ可ナリ多イ結果此頃デハ特別ニイ、地質デナイ限りハ可成初メニらじにんぐヲヤルガヨイト云フ意見ガ多イ様デアル全ク一旦開通シタ後ニ切擴ヲヤツテらじにんぐヲヤルト云フ事ハ確カニ厄介ナ仕事デアルカラ特別ニ丈夫ナ岩石デナイ限リハ少クトモあーちダケハらじにんぐヲヤルカ又ハ將來障害ガアツタ時容易ニらじにんぐガ出來ル様豫メラジにんぐノ厚サダケ餘分ニ掘擴ゲテ置ク方ガ特策デアラウ現ニ工事方法トシテ新規軸ヲ出シタ Canadian Pacific Railway ノ延長五哩ノ Rogers Pass Tunnel ハ開通當時僅カ全長ノ四分ノ一位シカらじにんぐヲヤラナカツタガ一昨年ニナツテヤハリ殘シタ部分ノらじにんぐヲヤリ初メタ(コニニ就テハ Engineering News-Record Vol. 86, No. 10, March 10, 1921 ノ記事ガアル) 地質ガ日本ニ比べテ良好デアルあめりか大陸デモ可成らじにんぐヲヤル事ヲ勧メル程デアルカラ勿論日本デラジにんぐヲ省クコトニ就テハ充分慎重ニヤラナクテハナラヌガモツトらじにんぐヲ省イテモ差支ナイ場合ガアリハセンカト思フ

らじにんぐ節約上直接らじにんぐ廢スルコトモ考ヘナクテハナラヌガ又せめんと・がんニヨルこーちんぐ (Cement Gun Coating) ヲ應用スルノモ面白イ方法デハナカイト思フせるぶ・ア・ボーとノ岩石デ湧水ガ少ク只將來うえざりんぐノ爲肌落チスルノガ心配デアル様ナ地質ニコノこーちんぐヲ利用スレバ確カニ有效デアルコレニハもるたるヲ直接岩面ニ吹キ付ケテモ差支ナイガ鐵網ヲ利用スレバ一層丈夫ナこーちんぐガ出來ル近來あめりかデ炭礦ノ坑道ニコノこーちんぐヲ利用シダシタガ大變具合ガ好イトノ事デ所々ノ炭礦ニ試ミラレテルびづばーく市附近ノ炭礦デこーちんぐ後二年ヲ經過シタノモノヲ實際觀察シタガ之ハ高サ六呢乃至八呢幅十二呢乃至十四呢許リノ坑道デボロボロナしきーる質ノ岩石ニハ直接こーちんぐシタモノデアツタガ實ニ能クもるたるガ岩面ニ密着シテ居ツタせめんと・がんノ使用法及ビソノ應用等ニ就テハ既ニ諸雜誌等ニ多クノ參考記事ガアルシ會社カラモ多クノ參考ニナル冊子ヲ出シテルカラ今更茲ニ詳シ

イ事ヲ述ベル必要ハナイガ特ニ注意スルコトハ可成乾燥シタ材料ヲ使用スルコトデアル之ガ爲ニ特ニ壓搾空氣中ノ濕氣ヲ取ル爲えヤー・ドライヤー (Air dryer)、迄モ使用シテ居ル工事ヲ見タガせめんと・がんノ會社デモせめんと・がん用ノえやー・ドライヤーヲ特ニ製作シテル

次ニ壓搾空氣デこんくりーとヲ送ルにゆ一まぢへく・こんくりーとい・ばれーすめん (Pneumatic Concrete Placement.) ニ就テ述べタイト思フガコノ方法モあめりかデハ既ニ相當年限ノ實驗ヲ經テ今デハ左程珍ラシイモノデモナイカラ既ニ書籍ヤ雑誌ニ多クノ参考記事ガアルカラ茲ニハ在米中實際ニ自分が視察シタ事ニ就テ少シク書クコトニスルコノ方法ヲ初メテ考ヘタ時ニハこんくりーとヲ送リ込ム外ニしりんだー内デ空氣ノ攪拌ニヨツテこんくりーとヲ混合シテみきるーノ動キヲモ同時ニサセル目的デアツタガ實際ヤツタ結果餘リ良結果ヲ得ナカツタノデ最近デハ一般ニみあるートシテ用ユルコトハ止メテ單ニ豫メ練ツタこんくりーとヲ型枠中ニ送リ込ムこんぐーやー (Conveyer) ドシテノミ用キテル現在あめりかデ一番廣ク用キラレタル機械ハ Ransome-Caniff Type ドカヒ Ransome Concrete Machinery Co. 製ノモノデあめりか東部地方ノ工事デハ一般ニ使用サレタルコノ機械モ初メハこんくりーとヲ壓搾空氣デ混合スル目的デ作ツタモノデアルガ現在實際ニハ只送リ込ムダケニ使用サレタルびつばーく市ノ Liberty Tunnel 工事デコノ機械ノ實際運轉ヲ見學シタガナカナカ面白イモノデアル九十封度乃至百封度ノ壓搾空氣デ百呎乃至二百呎ノ距離ニ十五切位ノこんくりーとヲ僅カ三十秒カ四十秒デ送リ込ンデシマフガ平均一時間ニ十六立方碼ハこんくりーとガ出來ル兎ニ角壓搾空氣デこんくりーとヲ送リ出スノデアルカラ隨分ヒトイ勢デこんくりーとハぱいぶカラ飛ビ出ス飛ビ出スこんくりーとニ勞働者ガ打タレタラ全ク危險デ送リ込用ぱいぶノ曲線部分ハ充分分支ヘテ動カナイ様ニシ又飛ビ出スこんくりーとガ型枠ニ當ル時ニハ型枠ヲ充分丈夫ニシテ置ク必要ガアル此工事デモ豫メこんくりーとハ隧道外デ練ツテだんぶ・か・デ隧道内ノにゆ一まぢへく・こんくりーと・こんベーやー迄運ンデ型枠中ニ送リ込ンデ居シタ送リ込用ぱいぶノ直徑ハふらんぢ付六吋ノすちーる・ぱいぶデ型枠ニ近イ部分ニハどれづんぐ用ノ直徑六吋厚サ四分ノ三吋位ノ丈夫ナゴム・ホーすヲ使用シ取扱ニ便ニシ

テ居ツタ又側壁及ビあーちーらーにんぐラ左右カラ同時ニ施工出来ル様送リ込用ぱいぶラ隧道ノ中心ニ置イテ出口ニ附圖第十一ノ様ナ特別ナ分岐管ヲ使用シテ送リ出サレルこんくりーとガ左右ニ等分ニ振り分ケラレル様ニシテ居ツタガ普通ノT型ノばいぶデハ正面ノ部分ガ飛ビ出スこんくりーとデ直キニ破ラレルトノ事デアル尙コノリバーー隧道工事ニ就テ、Engineering News-Record. 等ニ度々報告ガアル

長隧道工事等デハ一々こんくりーとヲ外デ練ツテ運ブノガ不都合デアルカラコノニゆ一まち、く・こんくりーと・こんぐやーラ利用シこんくりーと用材料一式ヲ列車ニ仕立テ、ばーてーべる・こんくりーと・みかしんぐ・ム・ムンヘ(Portable Concrete Mixing Plant)ヲ作リ隧道内デこんくりーと工一切ヲヤル事が試ミラレタル附圖第十二及ビ寫真第九ハ前述ノ Rogers Pass Tunnel. ノこんくりーと・らにんぐ工ニ利用シテルモノデアルガニゆ一まち、く・こんくりーと・こんぐやーハ前記ノム・カニム・た・い・ぶデ豫メこんくりーとヲ練ル爲ニ普通ノム・カ・ーラ据付ケテアルコノ圖面デハ後方ノ砂、砂利ノすとれーが・びんカラ前方ノすとれーが・びんニ砂、砂利ヲ送リ込ムノニ短イべると・こんぐやーツ・け?・と・それべ・た・ー・ト・ラ使用シテルガ之ハ實地ニ運轉シテ見タラだーとガモーたー上ニ落チテ故障ヲ起スノデ實際ニ使用シタモノハ太イ破線デ書キ添ヘタ様ニ一ノ長イべると・こんぐヤーデ直接後方ノびんカラ前方ノヘ送リ込ム様設計變更シテ居ツタ前記ム・カニム・た・い・ぶハ元々空氣デ練ルみきアートシテモ使用出來ル様設計サレタ者デアルガこんペヤー用トシテ空氣ノ消費量ガ多イノガ缺點デアルコレデ最初メカラニゆ一まち、く・こんぐヤーツシテノミ用キルツモリデ工夫シタ Web and Coke Concrete gun. ム・カ・ーラノガ出來タガ西部地方ノ隧道工事ニ一般ニ使用サレテ評判ガヨイ此機械ニ就テハ既に Engineering News-Record Vol. 87, No. 1, July 7, 1921. Vol. 86, No. 25, June 23, 1921 及ム Compressed Air Magazine Vol. XXVII, No. XI, Nov. 1922 等ニ記事ガアルカラ茲ニハ詳シイ説明ヲ略スルガ大體ノ要領ハ横ニ据ヘタ細長いしなんだーノ内リ空氣デ動クびすとんガアツテ豫メ練ツタこんくりーとアシリんだーニ入レテカラコノびすとんデこんくりーとアシリんだー一端ノ送リ出シロ迄押シ詰メこんばくとナますニシテカラ徐々ニ空氣ヲ入レテ送リ出スノデ

694

アツテらんむ・かにふ型ニ比ベルト空氣ノ消費量ガ少ク且ツしりんだーガ横デアルカラ小斷面ノ隧道ニ用キテ便利デアル一昨年在米ノ當時ニ、發明者 W. F. Web 及シ A. P. Cox が組織シテル Universal Concrete Gun Co., Los Angeles, Cal. トハフ小會社ガ此機械ヲ專用シテこんくーと工事ノ下請ヲヤツテ居ツテコノ機械ヲ使用スルノニハ同會社」ハんくーと單位容積ニ付何程ト云フアリ。あねー (Royalty) ヲ支拂フコトニナツテ居ツタ寫真第十八 Southern California Edison Co. 水力隧道工事ニ使用シテル前記こんくーがんヲ寫シタモノデアル

九 爆破機械(Mucking Machine) II就テ

隧道工事進行上重要ナル關係アルモノハ礫出作業デアルガ之ヲ迅速ニヤル爲ニアメリカデハ種々ノ爆破機械ガ試用サレテルめりかノ特許局デ是等ノ機械ニ對スルばてんとト調ベルト隨分數多ク色々々ナノガアル狹イ場所デ用キラレル小型ノ爆破機械ハ元ハ採礦方面デ發達シタモノデ之リ就テバ Engineering and Mining Journal Vol. 109, No.5 Jan. 31, 1920 リ詳シイ記事ガアルガ現在處々ノ礦山デ一般ニ使用サレ又土木方面ノ隧道工事ニモ利用サレタルモノハ大體 Myers-Whaley Shovel, Myers-Whaley Co., Knoxville, Tenn.

Hoar Shovel, National Iron Company, Duluth, Minn.

Shoveloader (Armstrong Shovel), Lake Superior Loader Co., Duluth, Minn.

ハ三ツデアル是等レバグロハ詳細ニ就テハ夫々上記製造會社ノ目錄ア見レバ解ルガ大體ノ要領ヲハクト前記ノ雑誌ニモ書イテアル通りまじやー・ウエーレー・レバグロハ全ク普通ノすらーむ・レバグロハ動ヲ應用シタモノデホウー・レバグロハ全ク普通ノすらーむ・レバグロハ動ヲ應用シタモノデ又しゆーぐ・るーだー・ハヌヤー・しりんだーノ直接運動ヲ利用シタモノデ何レモ全然違ツタぶりんしやるヲ應用シタモノデアル動力トシテハしゆーぐ・るーだー・ハ空氣ニ限ルガ他ノ二ツハ空氣電氣何レデモ差支ナイ併シ普通まいやー・ウエーレー・ハ電氣ほわー・ハ空氣ヲ使用シテル大體ノ價額ハほわー・しゆーぐ・るーだー・ハ同シ位デアルガまじやー・ウエーレー・ハ機械ガ複雜ナダケニ他ノ三倍位デアル

まづさんぐ機械トシテコノ三ツノ比較デアルガ何レモ。ぶりんしょるガ全然違ツテ居ル關係上各利益ガアルカラ一概ニ何レガ優秀デアルト云フ事ハ簡単ニ斷言出來ナイト思フソレニ何レノしょべるモ未ダ使用サレテカラ日ガ淺ク漸ク試験時代ヲ通過シタ位ナモノデ今尙盛シニ改良サレツ、アルカラ現在ノ機械ガ持ツテル缺點デモソレガぶりんしょるノ上カラ如何シテモ避ケラレナイト云フ見込ノツク迄ハ是等ノ缺點カラ直チニ何レガベスとデアルト判斷スルノハ間違デアル事實視察シタ結果カラ見テモ何レノ機械モ未ダ現在デハ色々缺點ガアルコトハ確カデコレハ發達ノ初期ニアル機械トシテハ全ク已ムヲ得ヌ事ダト思フ現在一般ニ使用サレテルろく。どりるトカすち一む・しょべるトカ云フ様ナ機械デモソノ歴史ヲ尋ネルト全ク今日ノ成功ヲ納メル迄ニハヤハリ幾多ノ改良進歩ヲ經テ來タモノデアル一昨々年桑港ノ Hetch Hetchy 水道工事ヲ訪問シタ時まじやー・うおれー・しょべるハ破損シ易クテ困ルト云フ事ヲ現場ノモノカラ聞イタガ現場ノ修繕工場デ同機械ノこんべやー用べるとガ破損シ易イノデ厚イごむ・べるとニ取代へ試験シテルノヲ見タ又の「くすび」ゆ市ノ同機械製作工場モ訪問シタガ小規模ナ工場デ設備モ未ダ充分デナイ從ツテソノ製品モ不完全ナモノガ多イト見エベ・ち・へ・ち・ー・ノ現場デ同工場カラ送ツテ來タ豫備品ニ大キナ巢ガアルノヲ送リ返シテ居ツタしゆーべ・ろーだーニ就テモ同様破損シ易イトノ非難ヲ聞イタガかりふるにやノ Southern California Edison Co. ノ水力工事ヲ訪問シタ時モ修繕工場デ同機械用ノぎやー・せぐめんと・ふもあー・げーじす (Gear Segment for Gauges) ガ弱イノデ同ぎやー・ノ背部ニ補強シタモノヲ作ツテ居ツタ又からふるにあノ San Joaquin and Power Corp. ノこんすとくしょん・えんじにやー・ヨリ同機械製作會社宛ヘノ手紙ニモ凡テノ鑄物ヲかすと・すわーるニ變更スルコトヲ勧メテ居ツタガ最近ノしゆーべ・ろーだーハ全部かすと・すちーるニ改メタト云フコトデアルカラ餘程丈夫ニナツタコト、思フほわー・しょべるニ就テハ遺憾ナガラ工事現場デ實際ノ運轉ヲ見ルコトガ出來ナカツタカラ確カナコトハ解ラヌガ恐ラク同様ノ狀況ニアルノデハナイカト想像シテルコンナ譯デ現在デハ何レノしょべるモ色々ノ缺點ガアルガ製作會社ハ勿論使用者自身モ色々ト改良工夫ニ努力シテ居ルカラ追々ト完全ナモノニナルト思フ

以上述ベタ礫出機械ハ何レモ小型デあめりかデハ主ニ断面ノ小サイ隧道工事ニ使用サレテルガ鐵道隧道ノ様ナ大キナ断面ノ隧道まゝきんぐニハ一般ニ普通ノすちーむ・しょべるヲ使用シテル之ハ歐洲式ノ支柱式支堡工ヲヤルカラ可成小断面ノ隧道迄方法デハ想像出來ナイ事デアルガあめりかデハ一般ニべんち式掘鑿法デアーチ型支堡工ヲヤルカラ可成小断面ノ隧道迄ニモ普通ノすちーむ・しょべるガ應用出來ルノデアル地表ノ土工作業デ一般ニ使用サレテルすちーむ・しょべるナラ充分信赖出來ルカラ前記小型ノまゝきんぐ機械ガ未ダ不完全ナ今日デハ普通ノすちーむ・しょべるヲ隧道工事ノまゝきんぐニ利川スル方ガ確カニ有利デアル附圖第十三及ビ第十四ハ前記ノ Southern California Edison Co. ノ延長十三哩ノ水力隧道工事ニ使用サレテルまりおん・すちーむ・しょべるデ高サ十四呎幅十六呎ノ断面ニ使用出來ルモノデアル

十 隧道工事用機關車ニ就テ

隧道工事用機關車トシテハ

がそりん機關車

壓搾空氣機關車

電氣機關車（とろりー式蓄電池式）

等ガアルがそりん機關車ハ特別ナ動力供給設備ノ必要ナク最モ簡便デアルガ隧道工事用トシテハ通風上えきぞーすと。がすガ問題デコレガ爲特ニえきぞーすと。がすヲ無害ニスル設備ヲ取付ケタガそりん機關車モ工夫サレタガあめりかデハ隧道工事用トシテガそりん機關車ハ一般ニ用キラレテナイ又壓搾空氣機關車ハ歐洲デハ屢々長隧道工事ニ使用サレタガあめりかデハ瓦斯ノアル炭鑛方面デ使用シテル丈デ隧道工事用トシテハ一般ニ用キラレテナイ現在あめりかデ隧道工事用トシテ一般ニ用キラレテルノハ電氣機關車ノとろりー式カ蓄電池式カデアル蓄電池式ハとろりー線ヲ張ツタリれるヲばんどスル面倒ガ全クナイカラ一般ニ水力ヤ水道工事用ノ小断面隧道等デとろりー線ヲ張ルト勞働者ガコレニ觸レ

ル危険ガ多イ場合ニ用キテルガ之ハとろり一式ニ比ベルト價格モ倍近ク高イシソノ上運轉費モ一般ニ嵩ムカラ断面ノ大
キイ隧道ノめん・はうれーじニハ普通とろり一式ノ方ヲ用キテル

とろり一式ノ機關車ニハアルガ引りんぐ・ラムガバ(Gathering Locomotive)・IKフテ鑛山デ主坑道カラとろり一線ノナイ部分ノ車ヲ引キ出ス爲ニこんだくた一・けーピル・ラーム(Conductor Cable Reel)又ハとらくしょん(ろーぶ・はうれーじ)リ一
る(Traction or Rope Haulage Reel)ヲ取付ケタノガアルガ之ハ隧道工事ニモ用キテ大ニ便利デアル此兩り一の共取付ケ
タ機關車モアルガ普通ソノ何レカ一ツヲ取付ケテルとらくしょん・けーピル・ラームハ一種ノほじすとデアルカラ假令之
ガナクトモ別ニほじすとヲとろり一線ノ終端ニ置クカ又ハ機關車自身ニロープヲ結ンデ引カスレバ同ジ事ニナルガ機關
車自身ガとろり一線ノナイ部分逆行ツテ作業スルニハドウシテモこんだくた一・けーピル・ラームノ必要ガアルカラ隧道
工事用トシテハ先ヅこんだくた一・けーピル・ラームヲ取付ケタ機關車ノ方ヲ利用スルノガ特策ダト思フ びつばーく市
ノらばちー隧道工事デハこんだくた一・けーピル・ラームヲ取付ケタとろり一式電氣機關車ヲ使用シテ居ツタガ掘鑿ハベ
んち式デ掘鑿面ト疊築工トノ距離ヲ僅カ四百呎乃至五百呎ニ縮メテ居タカラこんだくた一・けーピル・ラームヲ利用シテ
電氣機關車ヲ掘鑿面近ク迄入レテ自由ニ土運車ヲ操縦シテ居タ是等機關車ニ就テハ種々ノ製作會社ニ詳細ナ目錄ガアル
ト

十一 ぐらうちんぐ(GROUTING) II就手

ぐらうちんぐニ就テハ既ニ書籍、雑誌等ニ數多クノ参考記事ガアリ且ツ本邦土木學會ニ於テモ講演其他ニ度々照會サレ
テルカラ茲ニ詳シイコトヲ略スルガ要スルニぐらうちんぐハせめんと又ハもるたるヲ壓力アル水又ハ空氣デライにんぐ
ノ背部岩石ノふじへしりあー其他ノ空隙間ニ押シ込ム作業デアツテ簡単ナ場合ナラ普通ノポンプデモ出來ルノデアルガ特
ニ高イ壓力デヤル爲ニ色々特別ナ機械ガ工夫サレテル現在あめりかデ一般ニ使用サレテル機械ハ

Ransome Cardiff Type.

Cockburn-Barrow Type.

ヘリカ「前者、Ransome Concrete Machinery Co. デ製作販賣シテルモノが詳細ハ同會社ノ目錄ニアル後者、Cockburn-Barrow Co. デ初メテ作タタルモノアルガ現在ヨノ會社ハ存在シテナイコノ機械ノドアリんレアリハレーヌ。たんねるヘ少一レレターニー英人 J. H. Greathead 氏ノ述レレル(一八八六年)テルンジン市ノレーベル・たんねル工事等ニ廣ク使用サレタサヘ(ヤ)リ就テ、W. C. Copperthwaite 氏ノ Tunnel Shields and the Use of Compressed Air in Subaqueous Works p. 94 等リ記事ガアル)ト全ク同シデアルガ之ニ就テ、Hewett 及シ Johannesson 氏ノ Shield and Compressed Air Tunnel, 1924, p. 205 ニ圖面其他詳シイ説明ガアル是等二ツノ機械ハ何レモ壓搾空氣ヲ使用ヘルノトアルガ特リ高壓ハぐらむんペラヤルリハ水壓ヲ用ユル方ガ有效デ之ニ就テ新シク工夫サレタ水壓ニヨルぐらむんベ機械使用ノ一例ガEngineering News-Record Vol. 87, No. 2, July 14, 1921. ハアル

ぐらむんベノ應用範圍ハナカナカ廣イガ特ニ有效ナノハ龜裂アル岩石ノ田ニせめんと又ハもあるたるヲ押シ込ンデ防水ニ用ユル方法デアル在米中びつばーく市附近デ同市内ヲ流ル Allegheny River ハ下ヲ横断シテ對岸ノ火力發電所ト炭坑トヲ連絡スル坑道掘鑿工事ヲ見學シタ時湧水防止ハぐらむんベ作業ヲ見タガナカナカ面白イ方法デアルト思ツタコノ隧道ノ地質ハ割合ニ丈夫ナしきーる質デアツタカラ掘鑿ノ作業トシテハ大シタコトデハナカツタガ兎ニ角河底ヲ横断スルノデアルカラ非常ナ湧水デヨシニハ隨分因難シテ居ツタ萬一河底ガ破レテ洪水トナシ場合ヲ顧慮シテ河底迄達シナイ坑道ノ途中ニ特ニ隔壁ヲ作リ扉ヲ取り付ケテ何時デモ閉デル様準備ヲシ又愈々湧水ガ多量デぐらむんベ位デハ到底駄目ナ場合ニ壓搾空氣ヲ使用スルツモリデキヤーろく迄準備シテ居ツタガ到頭ぐらむんベトボンビンベトダケデ完成シテシヤツタスカル湧水止ハぐらむんベ作業其他ニ就テハ從來數多クノ参考記事ガアルガ特リ "Grouting Operations, Catskill Water Supply" Transactions of American Society of Civil Engineers Vol. LXXXII 1920 ハ有益ナ参考記事デアル尙隧道らしにぐらむんベラ利用スルコトニ就テハあーち型支壁工ノ場合ニ一寸説明シタガリスにんべ背後ノ空隙ヲ完全ニ填充スルコトニハ隧道工事上重要ナコトノ一デアルカラ日本デモ今一層ぐらむんベ此作業

ニ應用スルコトヲ研究スル必要ガアルト思フ

十二 ろばーゞ軌道敷設機械(Robert Type Track-laying Machine)II

軌條敷設機械ニハ色々ノ種類ガアルガ Canadian Pacific Railway ノ新線建設工事デ見學シタスローバー試機械ニ就テ多少調査シタ事ヲ次ニ述べル

スローバー試機械ニ就テハ Camp 氏ノ Notes on Track ャ一九〇〇年頃ノえんじにやうんべニ關スル雑誌ニ色々参考記事ガアルガ現在 Canadian Pacific Railway ノ使用シテルノハバシタニヤー・カー (Pioneer Car) ヲ合衆國ばてんと番號866,390 (1907) ニヨリ改造シテル附圖第十五ハ前記ばてんとニヨツテ改造シタ新規ナハシタニヤー・カーデアルガ第十六、第十七、第十八ノ三圖ハ前記ばてんとニヨツテ改造シタ新規ナハシタニヤー・カーデアルガ第十一及ビ第十二ハ現場デ此機械ノ作業ヲ寫シタモノデアル是等ノ寫真ト圖面第十六トヲ對照スルト解ル様ニ實際使用ノ機械ハ附圖第十六ニ點線デ書キ添ヘタ様ニれ一る。レール・ワイヤー (Rail Tramway) ヲ延長シテあらわすちんべ・ぼーる《之ハ一端ハ附圖第十六⑥ノ部分ニ取付ケラレ一端ハたゞ・ふらむうえーノがし・わらやー引キ寄せ或ハ押シ出シテ曲線等ノ場合ニたい・とらむうえー先端ガ線路ノ方向ニ向ク様あぢづとスルノニ用キラレル》ヲ取付ケテルビリ (Dolly) ヲ垂直ぼすとト結ビ付ケテ居ル又くれーんノ長イぶーむヲれーる・とらむうえーノ側ニ短イぶーむヲたゞ・とらむうえーノ側ニ置キ代ヘテ安定ヲヨクシテ居ル附圖第十九ハコノ機械デ軌道敷設ヲヤル時ノ作業人員ノ配置其他ヲ示シタモノデアルガ勿論作業隊ノ組織人員ハ當然一日ニ敷設スル軌道ノ哩數ニ因テ變ル可キモノデ一定ノ標準ハナイ私ノ視察シタ現場デハ僅カ五十人カ六十人デヤツテ居ツタあめりかヤかなだデハ一般ニ軌條ハぶれーく・じょんと (Break Joint) ニ敷設シテ居ルガ之ハ軌道敷設機ヲ使用スル上カラハ便利デアルガすけやー・じょんと (Square Joint) ニ敷設スレバばらる・と・かー上ノぶーむハ短クテスムあめりかデ軌道敷設機械ニ關スルばてんとヲ調べルト隨分數多クアルガコレカラシテモコノ機械ニ對シテハ可成工夫努

力ヲシタモノダト想像出來ル鐵道省デモ既ニろばーと式機械ヲ購入試験中デアルガ日本ハ狹軌デハアルシ地形其他ガア
めりかトハ隨分違フカラ之ヲ成功サセルニハ熟練以外機械ソノモノヲ改良工夫スルコトモ大ニ必要デアルト思フ

十三 通風用かんばす・ぱじゅう[1]説ト

あめりかデ最近 Bernis Bro. Bag Co., St. Louis, Mo., 又ハ E. I. du Pont de Nemours & Co., Inc. Wilmington, Del. 等ノ會社
社デかんばすヲ利用シテ特種ノ通風用ぱじゅう工夫シタ詳細ハ是等ノ會社ノ目錄ニ明ラカデアルガ兎ニ角材料ガかんば
すデアルカラ取扱ガ極簡單デ局部ノ通風ニ用ギテ至極便利デアル Bernis Bro. Bag Co. トE.I.会社ハ穀物ヤせめんとヲ
入レル袋ヲ作ルノガ專業デ傍コノぱじゅう造ツテルガ最近酸ニ耐エルかんばす・ぱじゅうモ造リ出シタ是等ノぱじゅうハ
鑛山方面デハ可成使用シテ成績ガヨイトノ事デアルガ土木方面ノ工事ニモ多少試ミラレテ居ル大規模ノ通風ニハ勿論駄
目デアルガ隧道ノ導坑又ハしゃくと等デ或局部ニ一時的ニ通風ヲヤルノニ應用シタラ面白イト思フ

十四 機械ヲ應用スル事ニ就テ

終ニこんすとらくしょんニ機械ヲ應用スルコトニ就テ感ジタ事ヲ書イテ見タイト思フ

あめりかデ機械ヲ盛ンニ利用シテルコトハ今更云フ迄モナイコトデ日本ノ工事ニ比ベレバ一般ニ規模ガ大キイ上ニ材料
機械ノ値段ハ日本貨ニ直シテ日本トハ大差ナイガ寧ロ安イ位デアルノニ勞銀ハ日本ノ數倍モ高イノデアルカラあめりか
デ機械ヲ工事ニ應用スルノハ全ク當然ナコトデアル併シソレダカラト云フテ日本デ今ノ狀態以上ニ機械ヲ經濟的ニ利用
スル餘地ガナイカト云フニ勿論あめりか程其範圍規模ハ大キクナイニ違ヒナイガ隨分考ヘレバ機械ヲ應用シテ經濟的ナ
場合ガアルト思フ施工上機械ヲ應用スル上ニハ單ニ今迄ノ方法ヲ機械化スル場合ト機械ヲ應用スルコトニ依ツテ新規ナ
方法ヲ試ミル場合トアルガ何レニシテモ單ニ機械代トカ材料費トカ工費トカ云フ様ナ容易ニ金錢ニ見積レルモノダケデ
人力ヲ主トスル從來ノ方法ト經濟比較ヲヤツテ得失ヲ判断スルノハ大キナ間違デコレ以外簡単ニ金錢ニ見積レナイ工事
速度ノ増進労働狀態ノ改善等種々ノ經濟的事項ガアルコトヲ考ヘナクテハナラヌ又想像ト實際トハ隨分違フモノデ單ニ

ト思フ

論 説 報 告 あめりかデ見學シタ工事ニ就テ

外國ノで一た等ヲ基礎ニシテ只豫想ダケデ機械ヲ使用スルノハ不利ダトカ不經濟ダトカ云フノモ大キナ誤デ實際ノ實驗ト云フコトヲ第一ニスルノガ最モ必要デアル實際ノ實驗ト云フコトニ重キヲ置カナイ結果從來隨分實際ニ使用シテ經濟デアルベキモノ迄ガ試ミラレズニ葬ラレテ居ルモノガアルト思フ勿論單ニ機械ヲ應用スルコトノミガ從來ノ施工法ヲ改良スル所以デハナイガ兎ニ角現在ノ日本ノ狀態トシテハ機械ノ應用ヲ盛ニスルコトガ何ヨリ土木工事法ノ進歩發達ニ必要ナ事デハナイカト思フ併シ今ノ日本ノ土木界デ機械ヲ利用シヨウト云フニハ種々困難ナ事情ガアル第一新ニ機械ヲ使用スルトナルト購入スルノニ相當資本ヲ要スル上ニ一工事デ機械代ヲ償却出來ル程度ニ經濟的ナ成績ヲ舉ゲナイ限りハ機械代ヲネカサナクテハナラヌガ從來人力ノミニ頼ツテ割合小資本デ仕事ヲヤルコトニ慣レテル請負者ガ新ニ斯ル資本ヲ投ズルコトハ餘程ノ決心ヲ要スルコトデナカナカ實現ハ六敷シイト思フ次ニヨシ機械ヲ購入シタシテモ之ヲ有效ニ利用シ經濟的ニ運轉スル迄ニハ相當ナ時間ト練習ヲ積ンデ熟練シナクテハナラヌガ之ガ又現在ノ請負者ニ取ツテハナカナカ困難ナ事デアルト思フ現在日本ノ請負工事現場デハ殆ンド凡テノ仕事ヲ切投ゲラヤツテルガ労働者モ長イ間コレニ慣レテル結果切投制度ヲ喜ブ上ニ切り投ゲデナケレバ能ク効カナイ習慣デアル從ツラスカル現場ニ新ニ使ヒツケナイ機械ヲ割り込マシテソノ能力ヲ發揮スル迄研究ナリ工夫ナリヲヤルト云フコトハ殆ンド望メナイ事デ熟練サヘスレバ有効ナ機械モ直グ様排斥サレルノハ全ク已ムヲ得ナイ次第デアル勿論切投制度其モノガ惡イノデハナイガ新ニ機械ヲ應用スルノニハ切投制度デハ成功覺束ナイノデアル最近鐵道省新線建設工事デ直轄工事ヲ實行シ出シタガ之ニハ勿論種々ノ目的ガアルガ一ツハ以上ノ理由デ現在ノ請負者ニ依ツテ新ニ機械應用ヲ研究スルコトガ困難デアル結果年々大資本ヲ投ジテ土木工事ヲヤツテル鐵道省トシテ自ラ進ンデ機械應用ヲ研究獎勵シタイ爲デアル次ニ機械ヲ應用シテ工事ヲヤルニハ如何ナル用意ガ必要デアルカト云フコトニ就テ少シ考ヘテ見タイト思フ勿論之ニハ第一ニ機械其モノ、運轉ニ熟練スルコトガ何ヨリ必要條件デアルコトハ云フ迄モナイガ是以外機械ノ能率ヲ充分ニ發揮サセルニハ次ノ注意ガ必要デアルト思フ

(一) 同時ニ關聯シタ工事ヲ全部機械化スル事

之ニ就テハすち一む・しょべる土工ノ時ニ一寸述べタガ或ル工事ノ一部分ニ如何能力アル機械ヲ應用シテモ之ニ關聯シ
タ他ノ作業ガ從來通リノ人力ニ依ル遅イ方法デヤツテ居ソテハ折角能力ノアル機械モ遊ブ機會ガ多クナリ結局何ノ爲ニ
機械ヲ使用シタカ意味ガナクナルカラ他ノ部分ニモ同時ニ能力アル機械ヲ應用シテ各機械ガ其能力ヲ發揮出來ル様ニシ
工事全體トシテノ能率ヲ増進スル様ニシナケレバナラナイ

(二) 特ニ保存ニ注意スルコト

工事現場ノ設備ハ凡テガ一時的デアリ且ツ天然ノ障害ト戰ヒナガラ仕事スル場合ガ多イノデアルカラ工場等ノ設備整ツ
タ場所デ機械ヲ使用スルノトハ遠ヒドウシテモ機械ノ取扱ヒガ亂暴ニナリ易イダカラ特ニ機械ノ保存ニ注意シナイト單
ニ機械ノ壽命ヲ縮メル許リデナク使用中故障ヲ起ス機會ガ多クナル故障ヲ起シテ一時仕事ヲ中止スル損害ハこんすとら
くしょよん方面デハ各機械ガ多ク特定ノ働キヲシテル關係上特ニ重大デアルカラ保存ト云フコトニハ特別ニ注意ヲ拂フ
必要ガアル

(三) 豫備品ノ準備修繕工場ノ設備ヲ充分ニスルコト

以上ニ述ベタ様ニこんとすとらくしょん用ノ機械ハ虐使サレル機會ガ多イ上ニ使用スル現場ハ多ク邊鄙ナ地方デアルカラ
ドウシテモ機械ノ豫備品ヲ充分準備シ且ツ修繕工場ノ設備ヲ可成充分ニシテ故障ノ際直チニ豫備品ヲ補給スルカ又ハ
修繕工場デ應急ノ修理ヲシナイト徒ニ修理其他ニ時間ヲ費シ折角機械ヲ使用シテモノノ成績ガアガラナイ又こんすとら
くしょんノ現場デハ屢々豫期シナイ事情ノ變化デ機械ノ附屬設備等ヲ變ヘナクテハナラナイ場合ガ起ルガヨハ場合ニモ
是非相當ナうおーく・しょつぶヲ持ツテルコトハ必要デアルあめりかデ各所ノ工事現場ヲ訪問シテ是等ノ點ニ就テハ大イ
ニ學ブ可キ所ガアルト思ツタ假令市内ノ工事デモ少シ機械ヲ餘計ニ使用スル所デハ何レモ相當ナうおーく・しょつぶヲ設
備シテル

(四) 準備ニ充分ノ時日餘裕ヲ見込ムコト

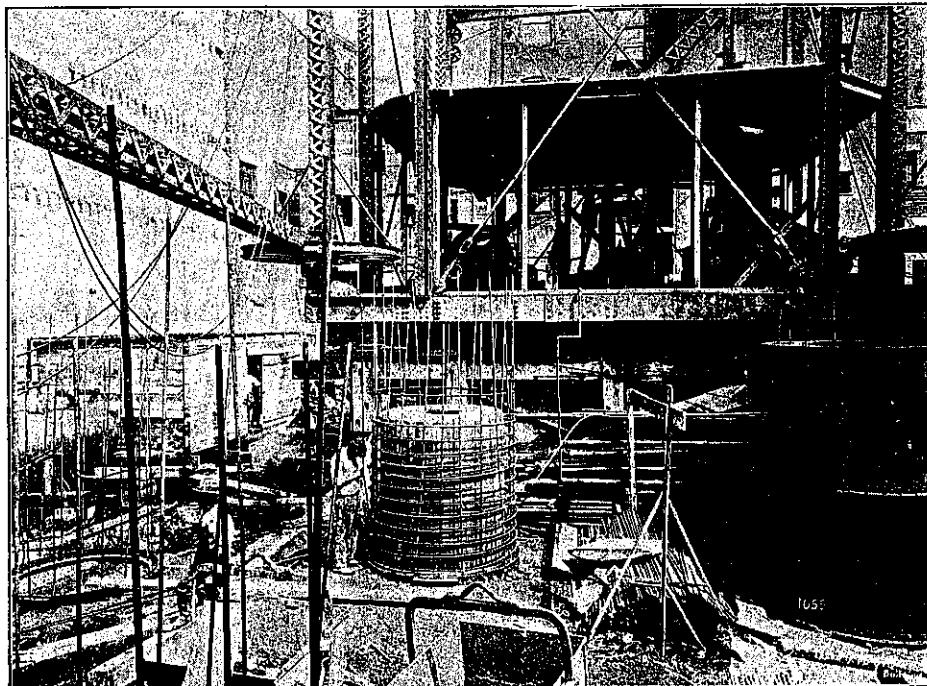
日本デハ未ダこんすとらくしょん方面ニ餘リ機械ヲ使用シナイ關係上コノ方面ノ機械工業ハ至ツテ貧弱デアルカラ機械ヲ使用スルトナルトソノ大部分ヲ歐米カラ購入シナクテハナラヌ從ツテ購入ニ時日ヲ要スルノミナラズ使用シテ破損故障ガアツテモ容易ニ製作者ト相談スルコトモ出來ズ萬事ヲ自分デ心配シナクテハナラヌカラ一ノ機械ヲ充分使ヒコナス迄ニハ一通リナラヌ苦心ガ要ルダカラ日本デ機械力ヲ利用シテ仕事スルノニハドウシテモノノ準備ニ充分ノ時日ト餘裕ヲ見込ムコトガ必要デアル

(五) 工事施工ノぶらんヲ豫メ設計スルコト

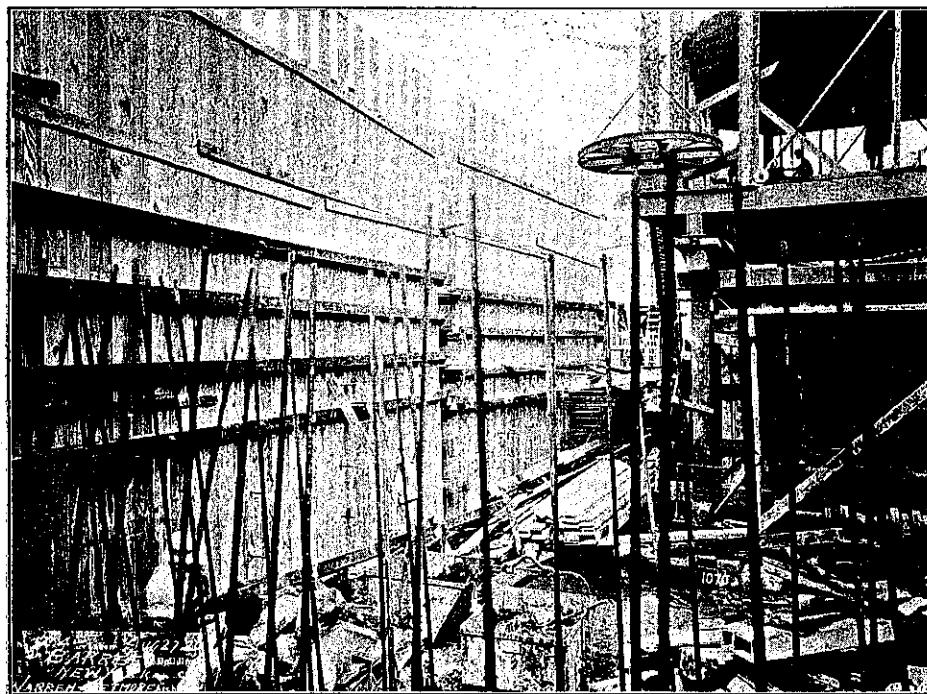
人力ヲ主トシテ小規模ニ少シヅ、工事ヲヤリ一部分宛片付ケテ行ク從來ノヤリ方デハ工事施行ノぶらんト云フコトハ特ニ必要ナモノデハナイ勿論人力ニ依ル場合デモ豫メ工事施行方法ヲ考ヘテ之ニ依リ材料器具ノ準備労働者ノ配置其他ヲヤルコトハ必要デハアルガ何レモ施工ノぶらんト云フ様ナ特別ナモノヲ工夫設計セズトモ頭ノ裡デ考ヘタ丈デ多クノ場合差支ナイノデアル併シ機械ヲ利用シテ仕事ヲスルコトニナルト此ンナ簡単ナ事デハ駄目デアル第一機械ハ人間ノ様ニふれきしぶるナモノデハナク移動融通ト云フコトガナカナカ困難デアルカラソノ擇擇据付ト云フコトニ充分ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ又前ニモ述べタ様ニ機械力ヲ充分ニ發揮サセル爲ニハ關聯シタ工事ノ能力ヲ凡テ相適合スル様按配シナケレバナラヌガ是等ノ事ヲ充分完全ニヤラウト云フニハドウシテモ豫メ研究ノ上完全ナ施行ノぶらんヲ作成シ之ニ基イテ一切ノ仕事ヲヤル様ニシナケレバ到底出來ルモノデハナイ殊ニ日本デハ(四)ニモ述べタ様ニ機械ニ對スル準備ニ充分ノ時日ヲ見込マナケレバナラヌコトヲ思フト尙更工事施工ノぶらんト云フコトハ機械應用上重大ナルモノデアルト考ヘルコノ點ニ就テモ自分ハあめりかノぶらくちすニ學ブ所ガ非常ニアルト思ツタ

尙機械應用ト云フコトニ就テハ之以外種々注意ス可キ事項ガアルニ達ヒナイガ思ヒ付イタ以上數項ニ就テ聊カ所感ヲ述ベタ次第デアル

寫 真 第 一



寫 真 第 二



(土木學會誌第九卷第四號附圖)

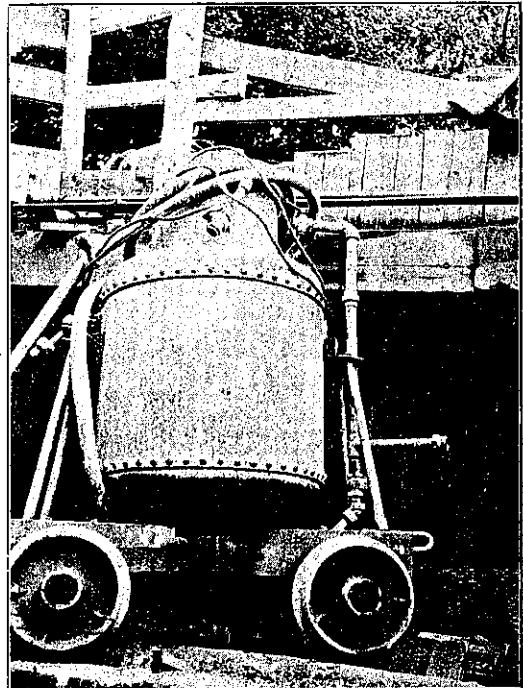
寫 真 第 三



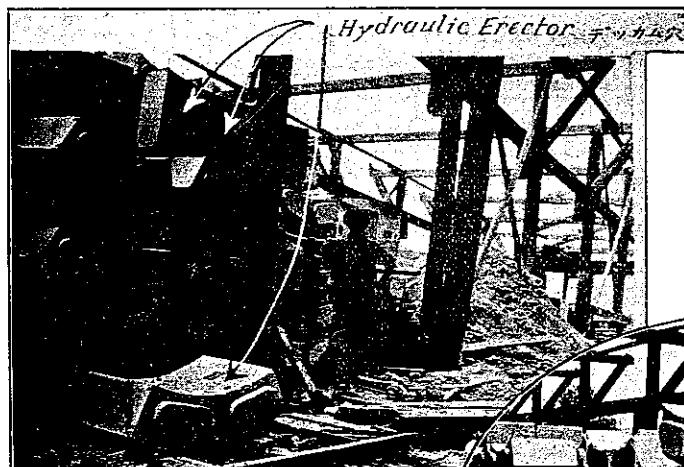
寫 真 第 四



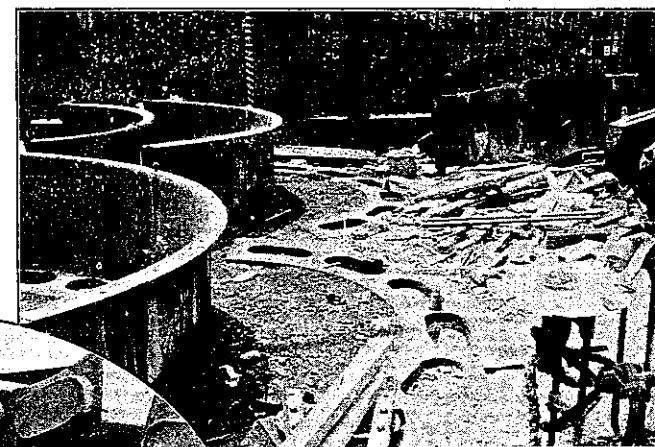
寫 真 第 五



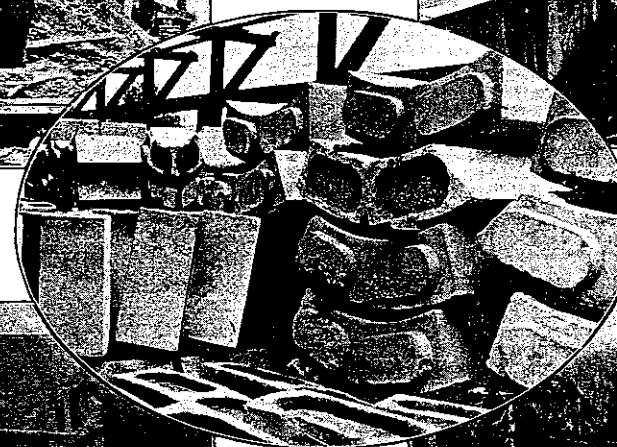
寫真第六



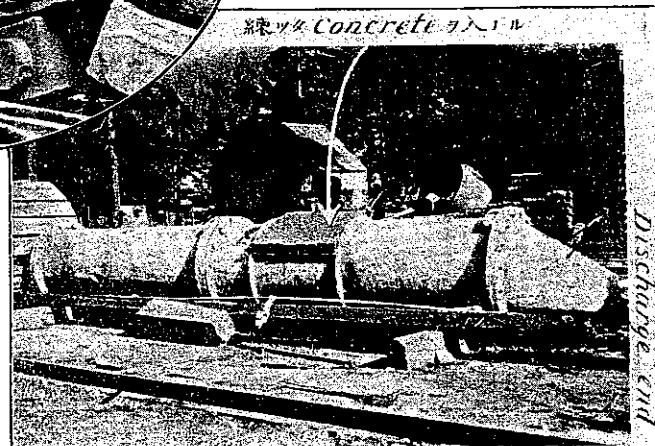
寫真第八



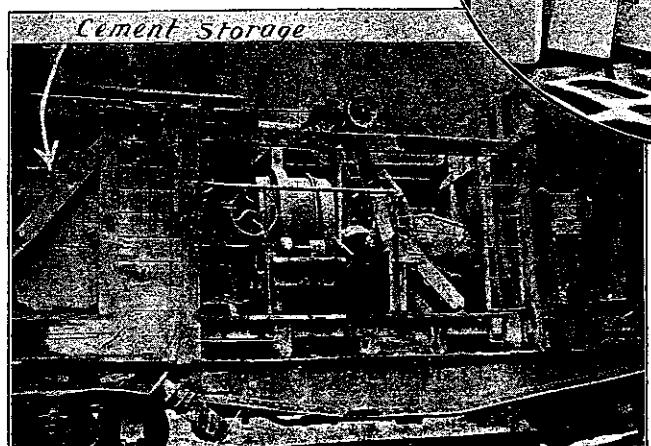
寫真第七



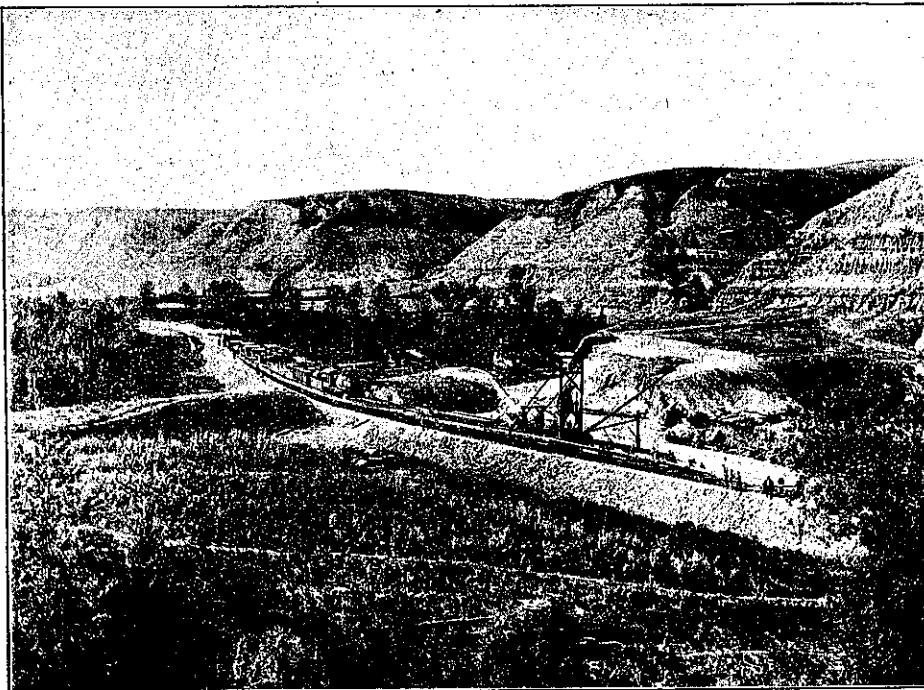
寫真第十



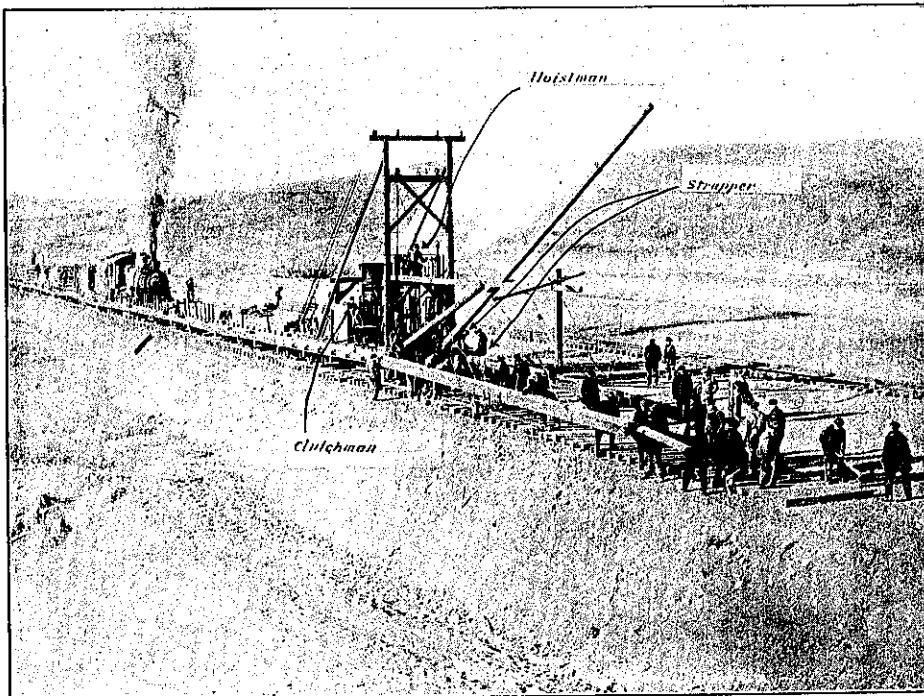
寫真第九



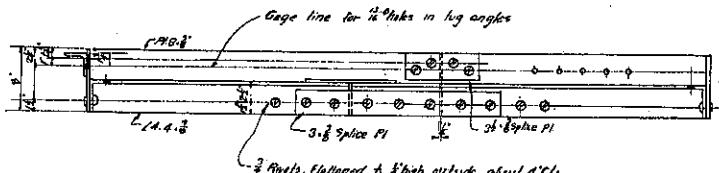
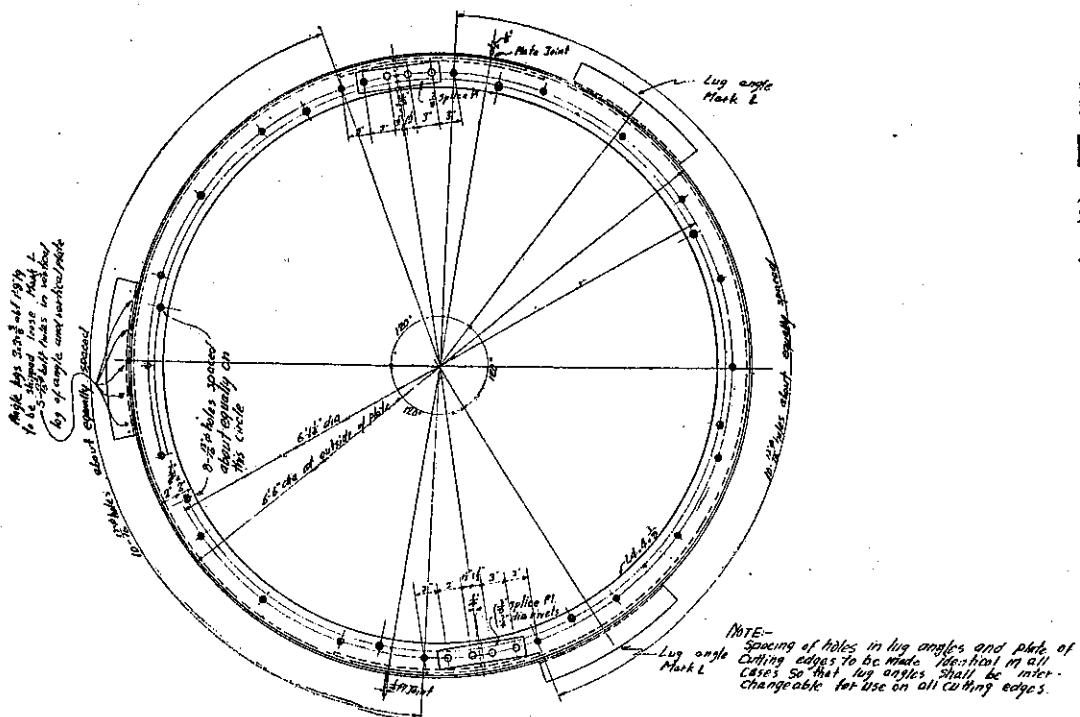
寫真第十一



寫真第十二



附圖第一



1/2" holes, flattened to 5/8" high outside, about 4' C.C.

REQUIRED 51 CUTTING EDGES
REQUIRED 15 ANGLE LUGS

Note Angle lugs to be bolted to the cutting edge (with heads outside) in the field
and serve as temporary supports for the outside steel forms

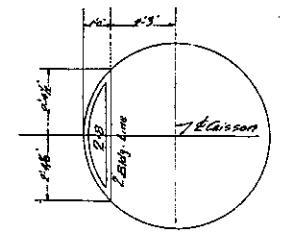
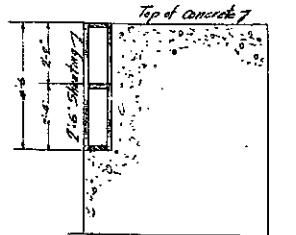
(土木學會誌第九卷第四號附圖)

THE FOUNDATION COMPANY

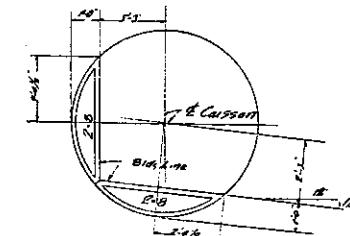
THE BARRETT BUILDING
STEEL CUTTING EDGES
FOR 6'6" DIA CAISSEONS

附圖第一

(土木局會議第十六號四號附圖)



Notch for Caissons 1 & 9, 10, 30, 35 & 36

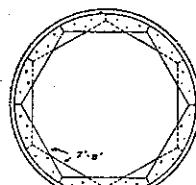
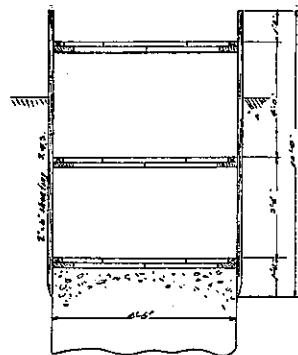
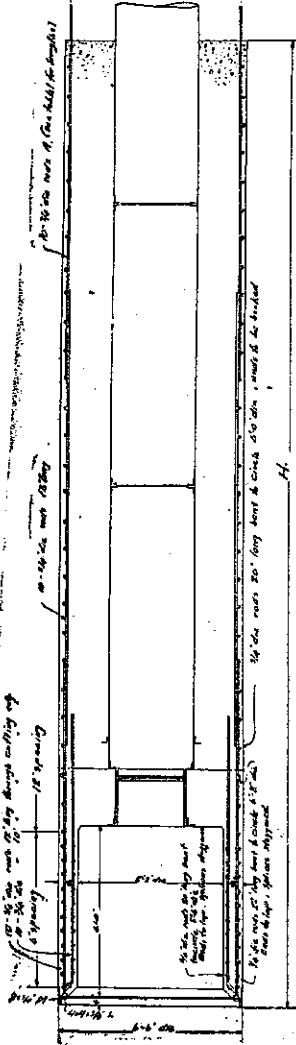


Notch for Caisson 10

REVISIONS
RANK DATE DESCRIPTION
1 Aug 5 Notch in top of caissons
2 10-2-20 Top of concrete for
Caissons from 3' to
4' 20'

THE FOUNDATION COMPANY
BARRETT BUILDING
Details of Circular Caissons

Date July 1942 Scale 1" = 1'
No. T-2045

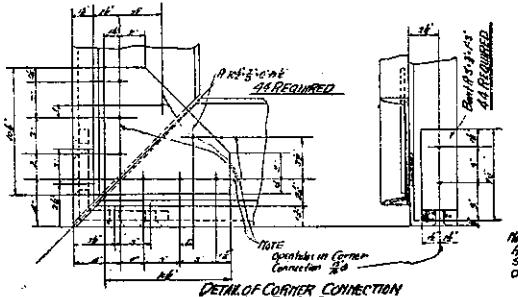
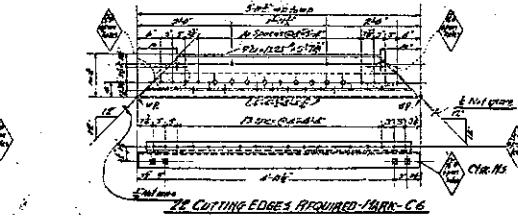
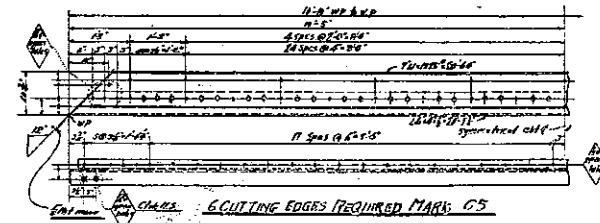
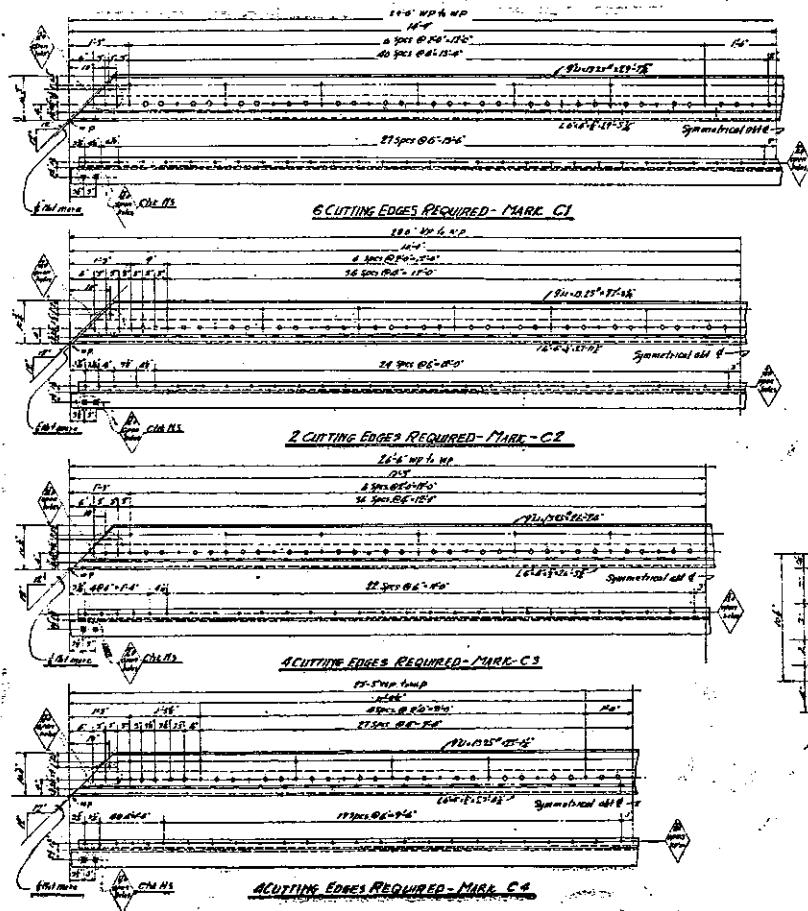


Cofferdam for Caissons
26, 27, 28, 31, 32 & 33

Caisson	Revised Elevation of Caisson 21	Revised Top of Concrete	Length of Piles A	Number of 2x Circular Heddle Anchors
1	-9.0	-10.14	37	28
2	-9.0	-9.34	39	30
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-9.0	-	40	31
6	-	-	-	-
7	-9.0	-	41	32
8	-	-	-	-
9	-9.0	-	42	33
10	-	-9.0	-	-
11	-9.0	-9.0	36	22
12	-	-9.0	-	-
13	-	-9.0	37	20
14	-	-	-	-
15	-	-	-	-
16	-9.0	-	38	20
17	-9.0	-	44	21
18	-9.0	-	41	20
19	-9.0	-9.0	-	-
20	-9.0	-9.0	39	20
21	-9.0	-9.0	36	19
22	-	-	-	-
23	-9.0	-9.0	39	25
24	-	-	-	-
25	-	-9.16	-	-
26	-	-9.0	39	21
27	-9.0	-	38	11
28	-9.0	-	34	15
29	-9.0	-	33	11
30	-9.0	-	34	15
31	-9.0	-	29	19
32	-	-	29	1
33	-9.0	-	30	9
34	-	-	30	21
35	-9.0	-9.05	34	15
36	-9.0	-9.05	34	15
37	-9.0	-9.05	34	15
38	-9.0	-9.05	34	15
39	-	-	-	-
40	-	-	-	-
41	-	-	-	-
42	-9.0	-9.05	32	11
43	-	-	-	-
44	-	-	-	-
45	-	-	-	-
46	-9.0	-9.05	33	13
47	-	-	-	-
48	-9.0	-9.05	33	13
49	-	-	-	-
50	-9.0	-9.05	34	13
51	-	-	-	-
52	-9.0	-9.05	34	13
53	-	-	-	-
54	-9.0	-9.05	34	13
55	-	-	-	-
56	-9.0	-9.05	34	13
57	-	-	-	-

2/2

附圖第三



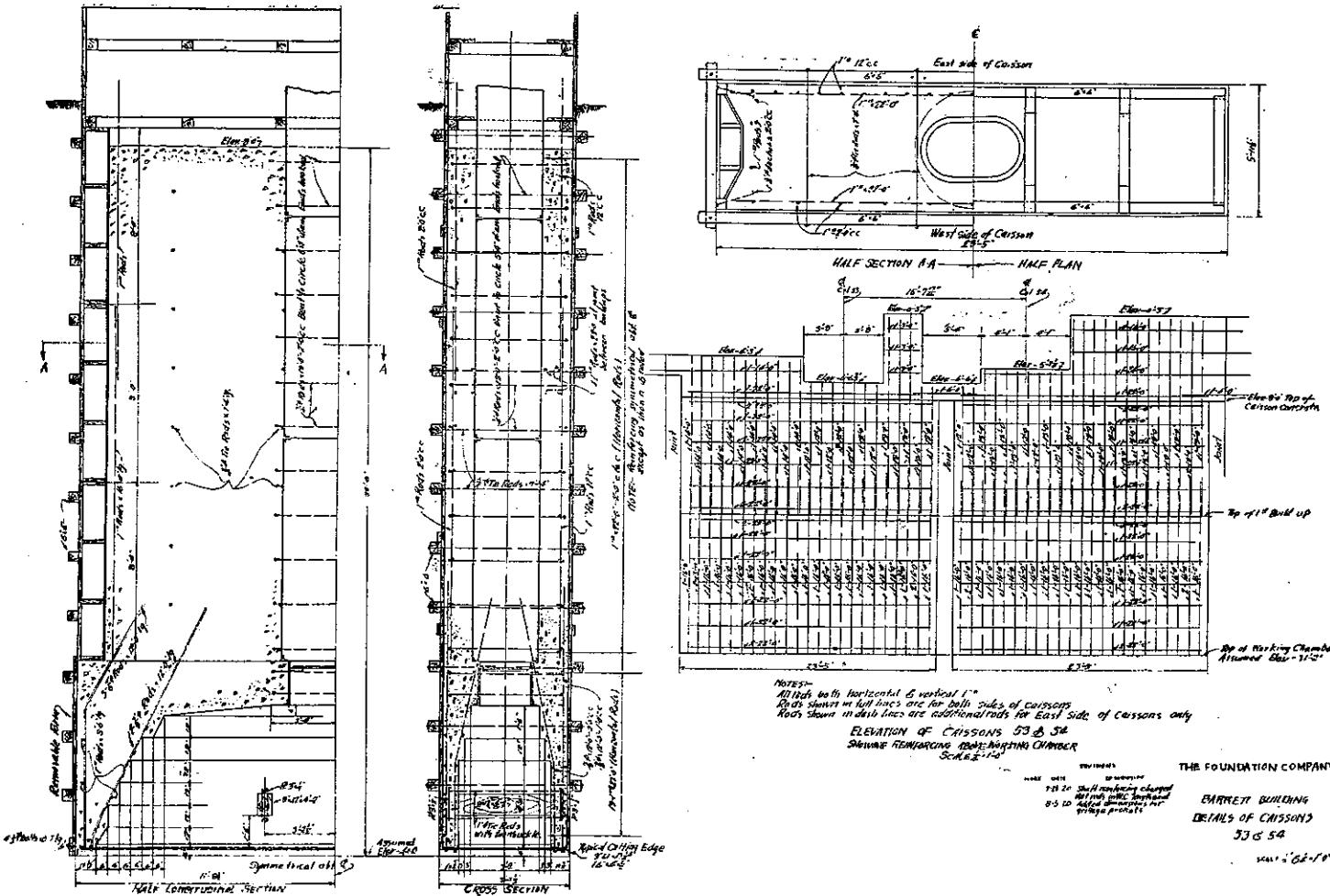
NOTE -
Supply 8' open holes 8" deep
Supply all bolts (10) for corner
connection.

THE FOUNDATION COMPANY

BARRETT BUILDING
CUTTING EDGES
FOR
RECTANGULAR CRISSES
ONE 7-9-20 scale 163/10
JULY 1970 NO Necessity

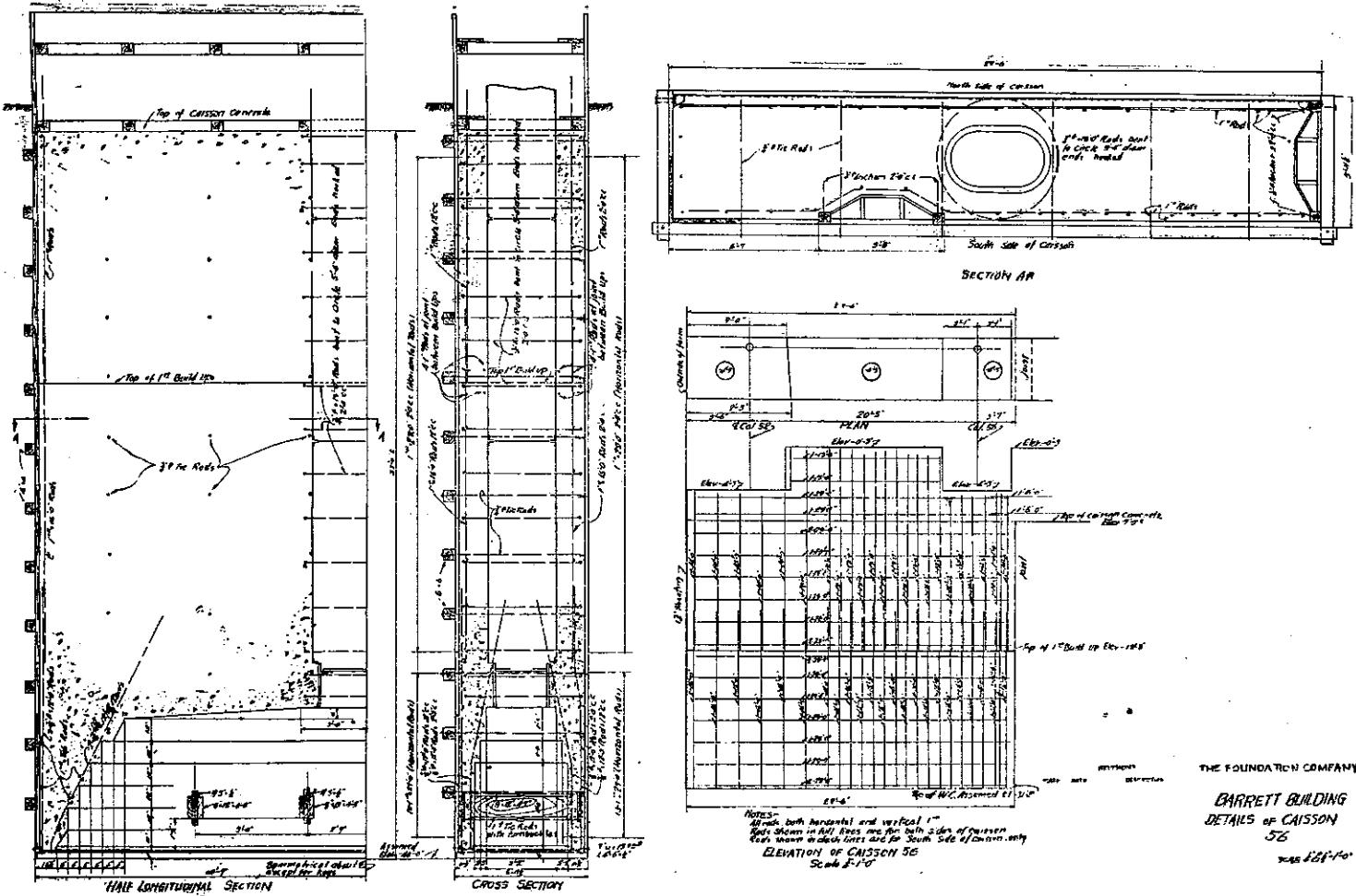
附圖第四

(土木學會誌第九卷第四號附圖)

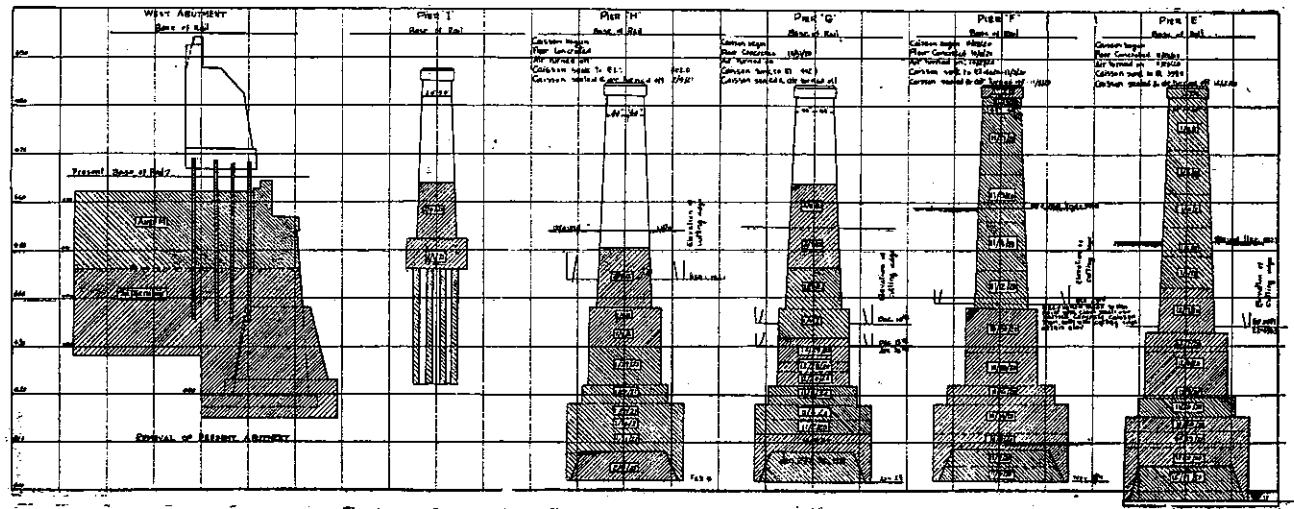
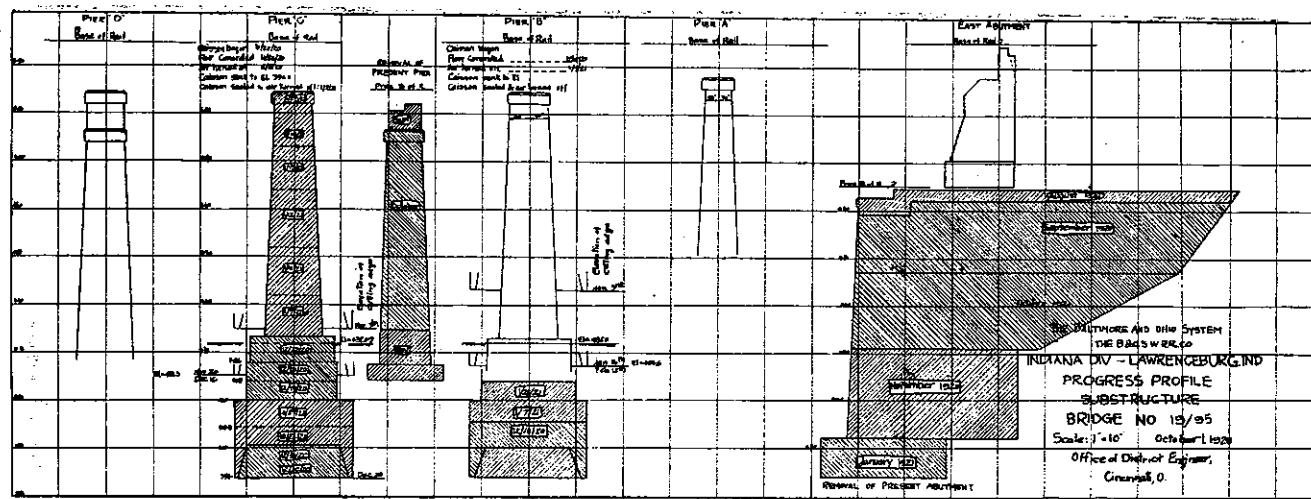


附圖 第五

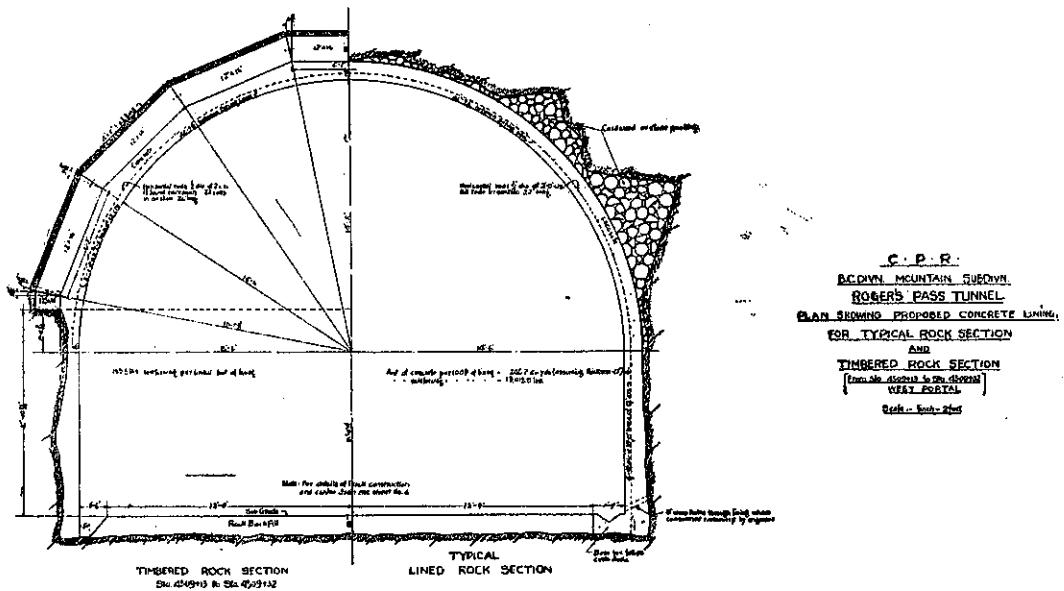
(日本國鐵道第三年第三回號誌)



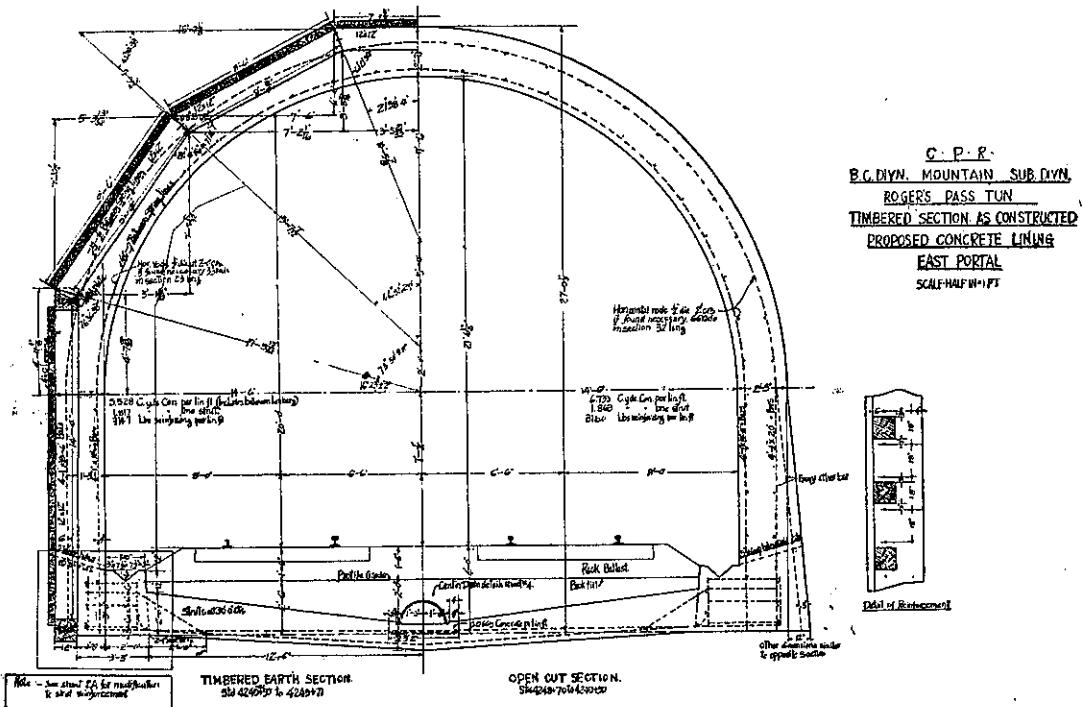
附圖第六



附圖第七

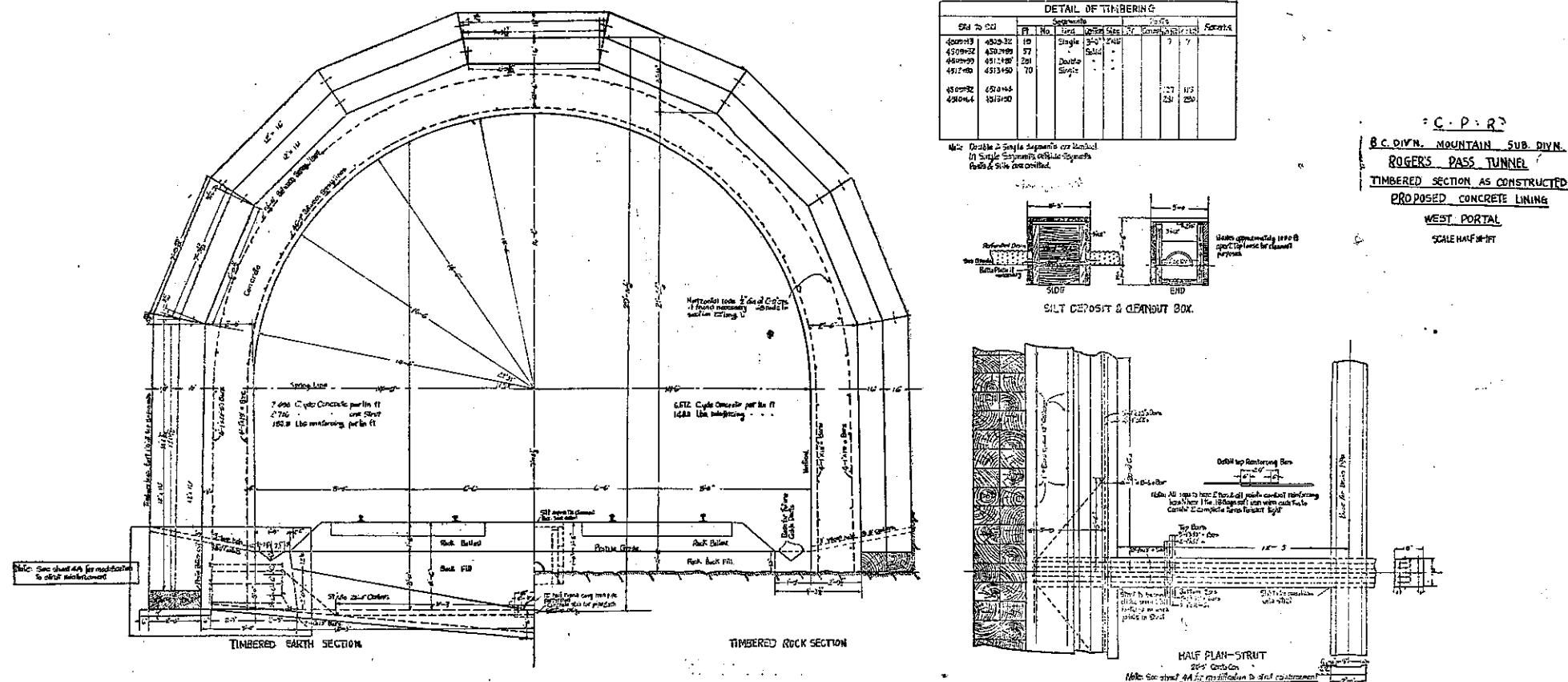


附圖第八



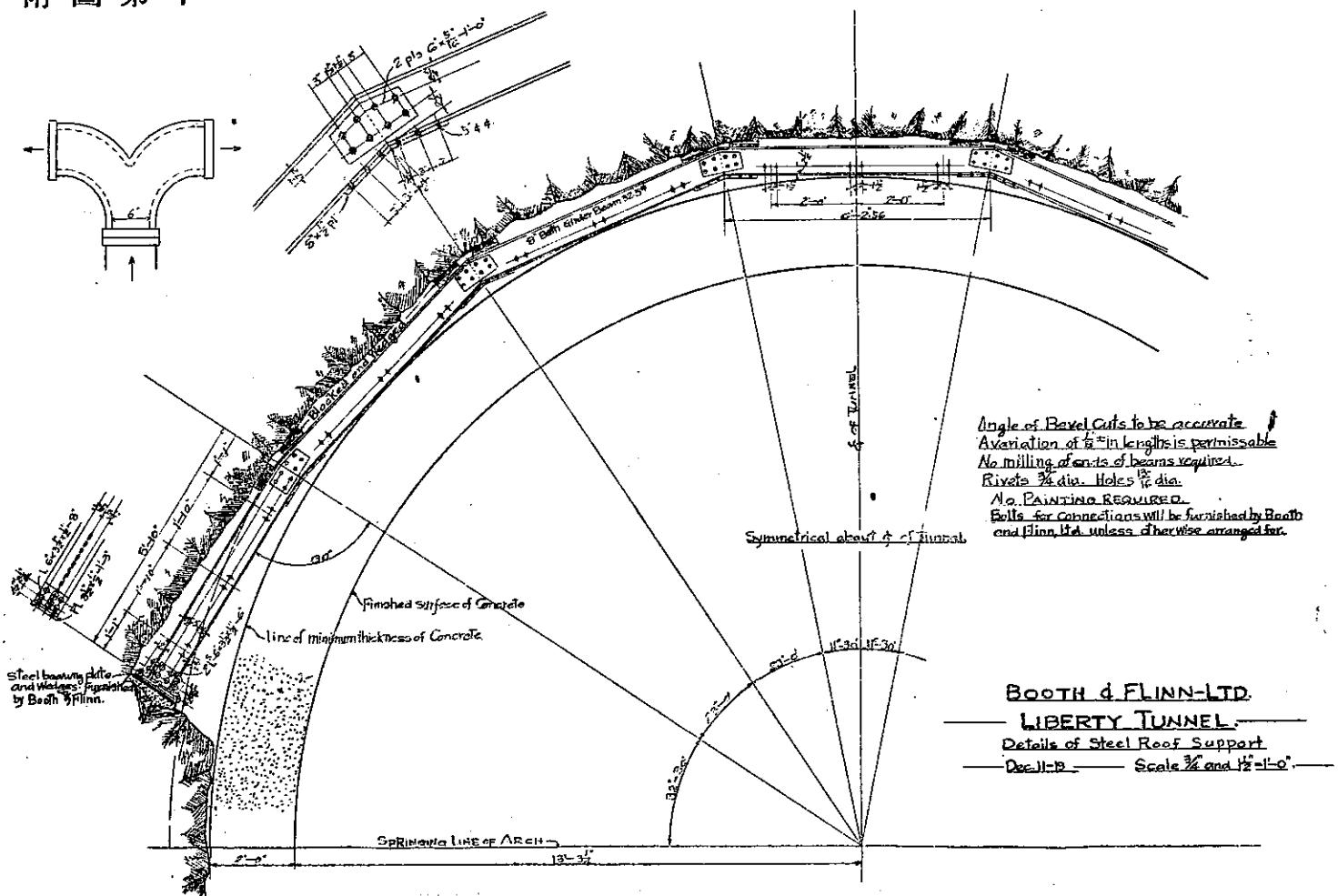
附圖第九

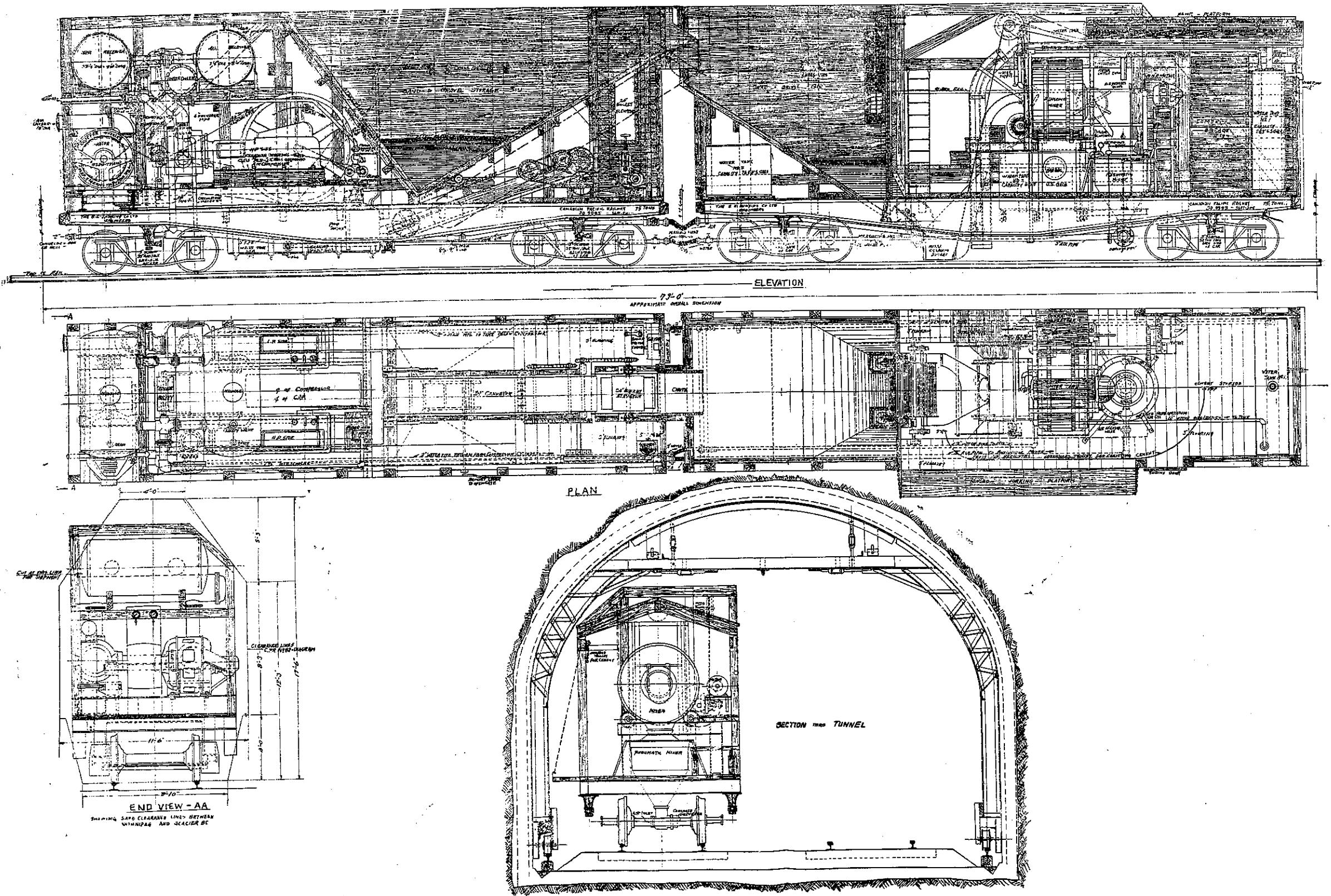
(土木學會誌第九卷第四號附圖)



附圖第十

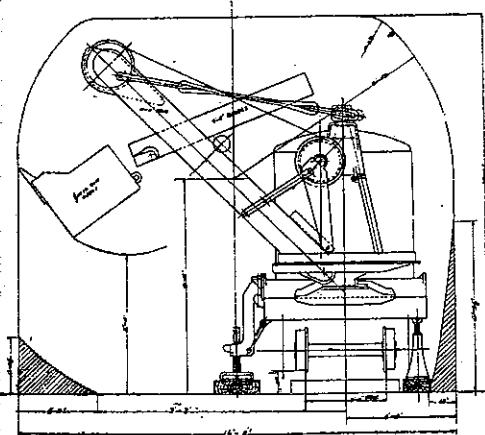
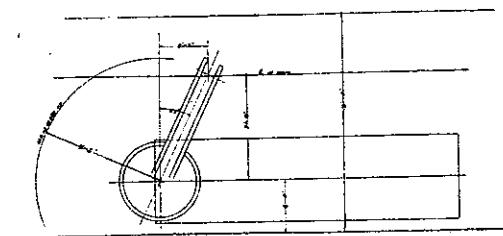
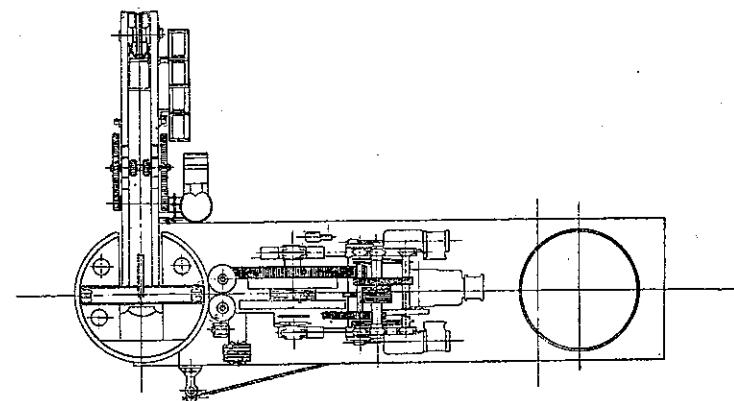
附圖第十一



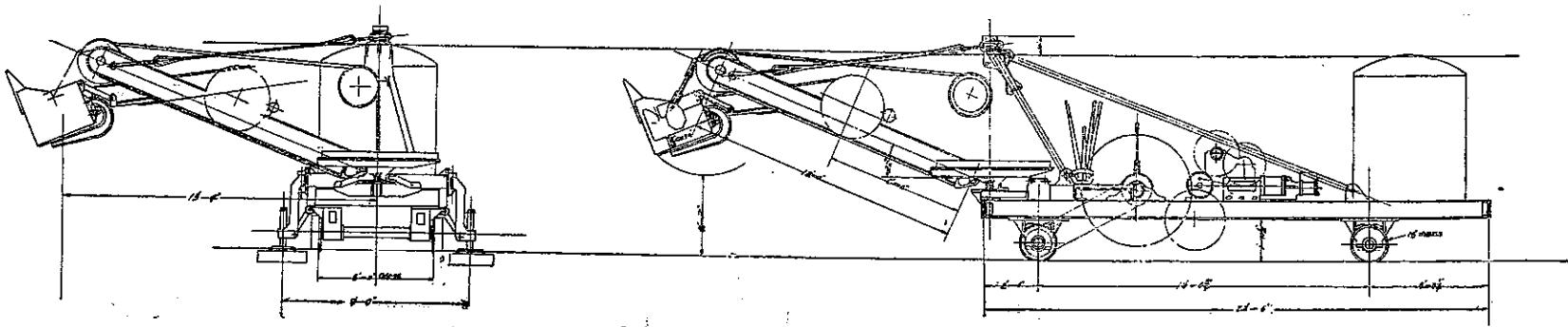


附圖第十四

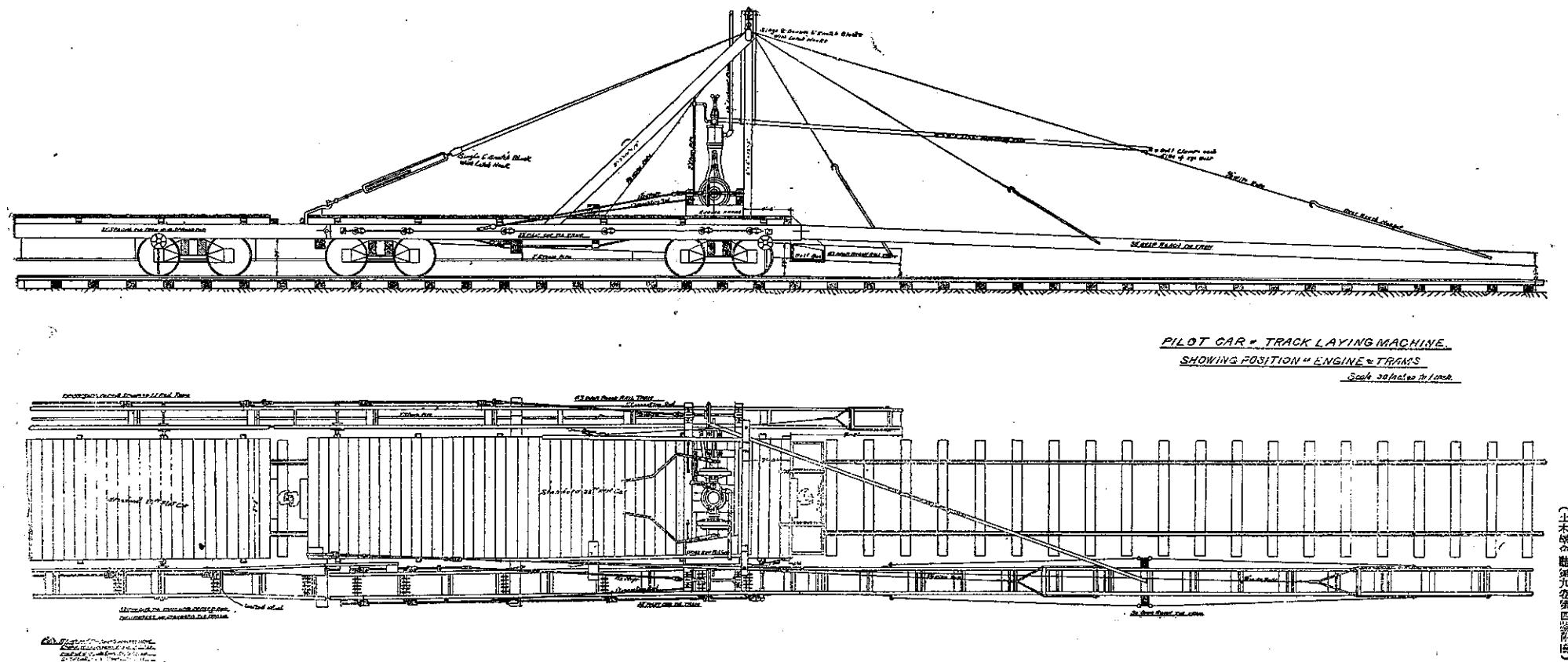
(日本國立科學院九號實驗室圖)



附圖第十三



附圖第十五



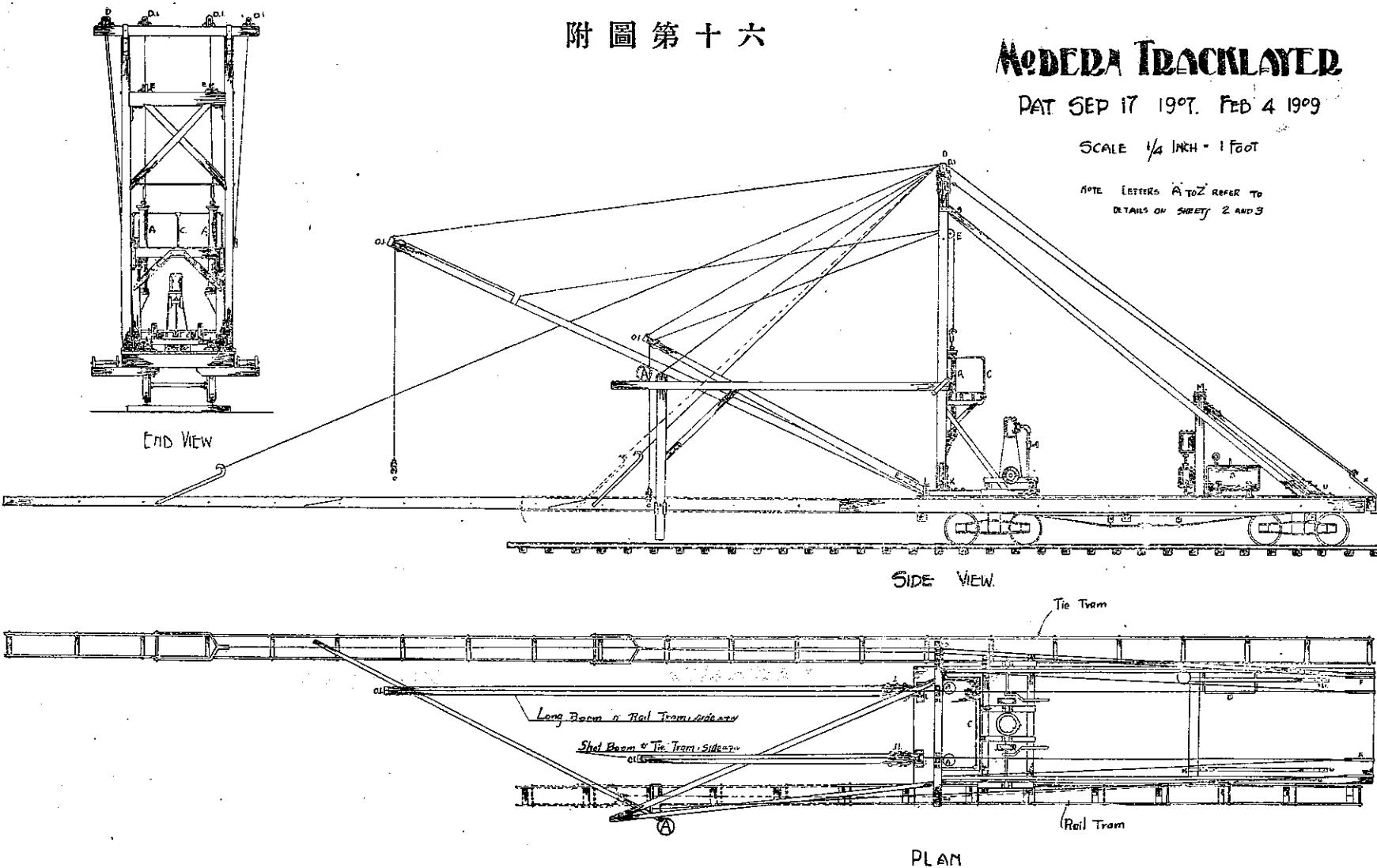
附圖第十六

Medera Tracklayer

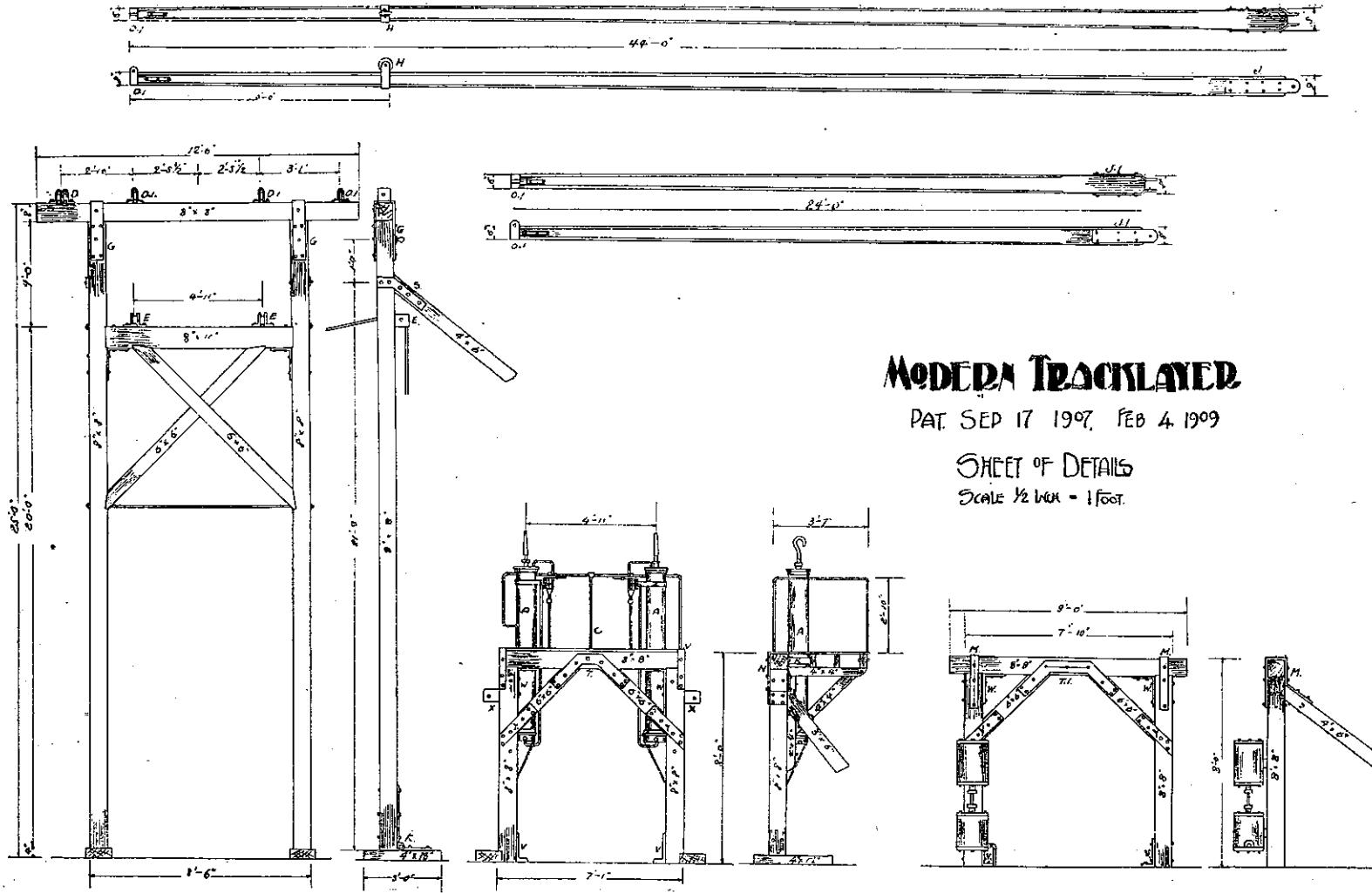
PAT SEP 17 1907. FEB 4 1909

SCALE $\frac{1}{4}$ INCH - 1 FOOT

NOTE LETTERS A TO Z REFER TO DETAILS ON SHEETS 2 AND 3



附圖第十七



附圖第十八

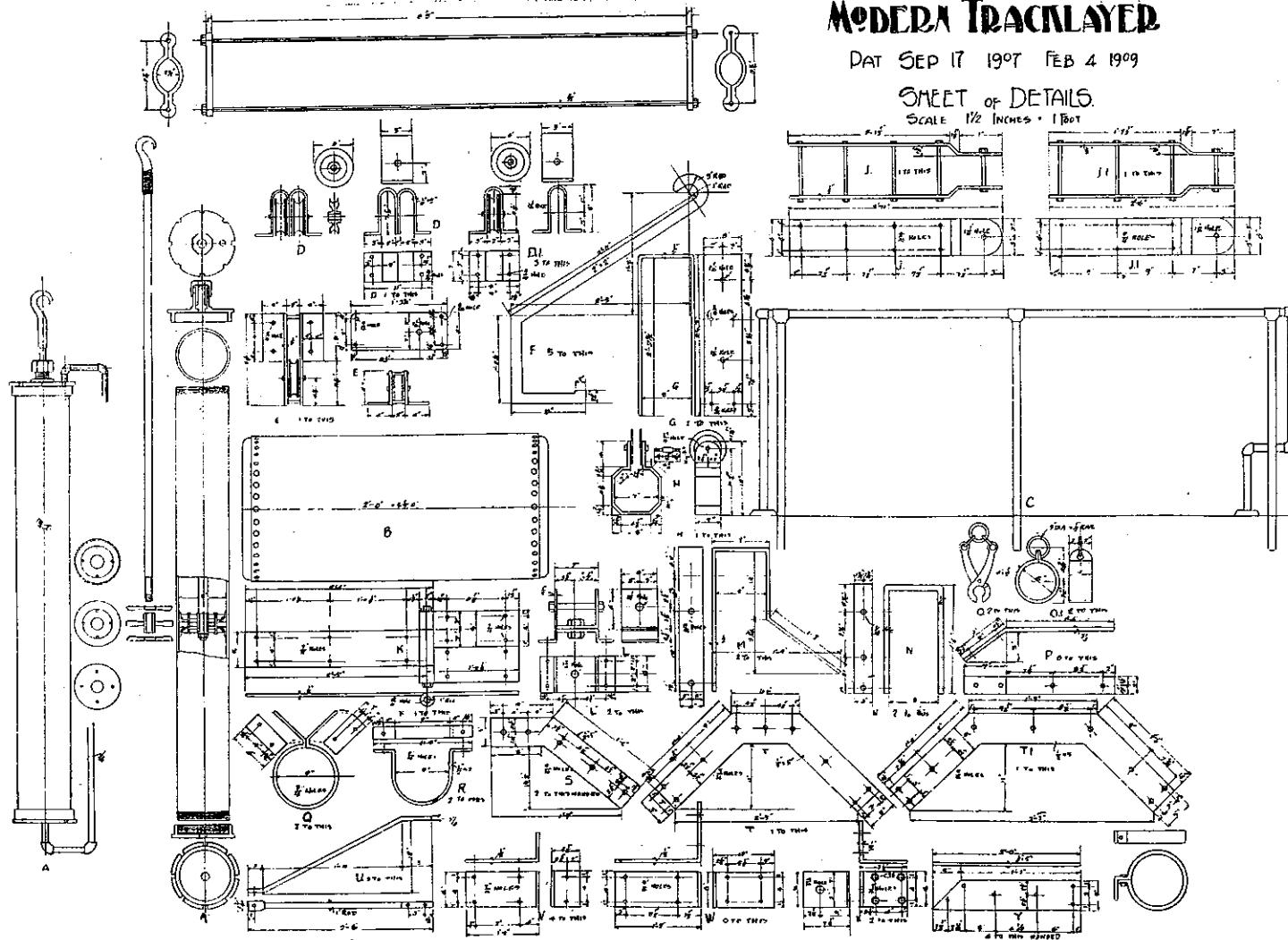
(本圖由總工程師室繪製)

MODERNA TRACKLAYER

PAT SEP 17 1907 FEB 4 1909

SHEET OF DETAILS.

SCALE 1/2 INCHES = 1 FOOT



附圖第十九

(土木學會技術九卷第四號附圖)

